

第4次高砂市総合計画 評価検証

～郷土に学び 未来を拓く～

生活文化都市 高砂

令和3年3月

高砂市

目次

1 市民満足度調査	
1) 高砂市のイメージ	1
2) 施策別評価分析	3
3) 行政施策に対する総合的な満足度	6
4) 生活における実感	6
2 体系別の施策指標による評価	
1) みんなの個性をいかす市民参画都市	9
2) 誰もがいきいきと暮らせる健康福祉都市	14
3) ふるさとを愛し思いやりとたくましが育つ教育文化都市	25
4) 地域の暮らしを守る安全安心都市	35
5) 自然と調和した環境共生都市	40
6) 活気があふれ躍動する産業交流都市	48
7) 親しみある簡素で開かれた地域経営都市	55
3 まとめ	59

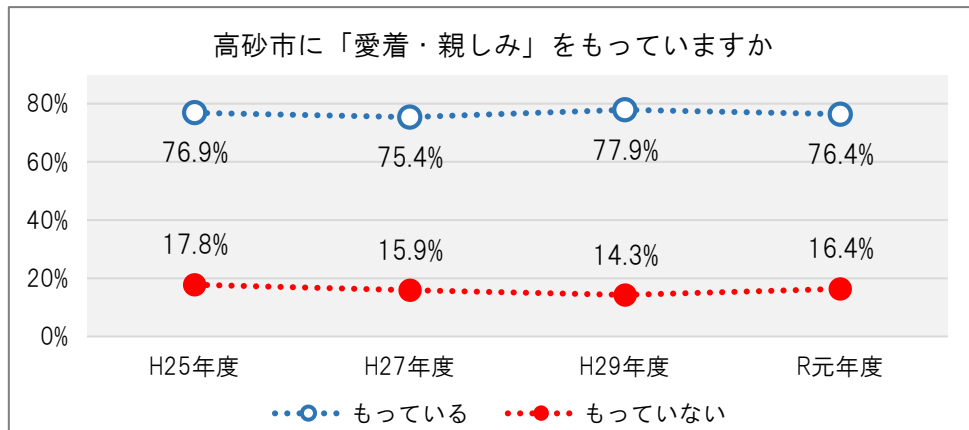
1 市民満足度調査

1) 高砂市のイメージ

1 高砂市に「自分のまち」としてどの程度「愛着・親しみ」を持っているか

選択肢	H25 年度	H27 年度	H29 年度	R 元年度
①もっている	34.4%	27.1%	34.0%	30.6%
②ある程度もっている	42.5%	48.3%	43.9%	45.8%
③あまりもっていない	10.8%	11.9%	9.9%	12.8%
④もっていない	7.0%	4.0%	4.4%	3.6%
どちらともいえない・無回答	5.3%	8.8%	7.9%	7.1%

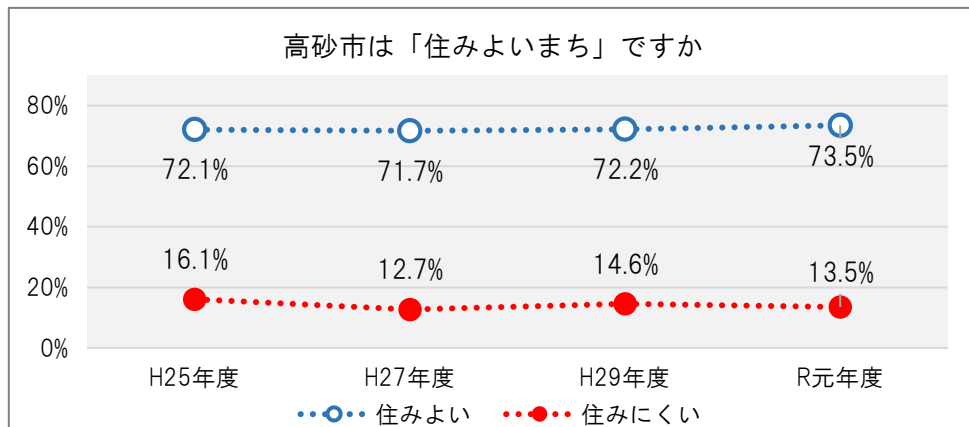
①と②を「もっている」、③と④を「もっていない」とし、その率の推移は以下のとおり。



2 高砂市を住みよいまちだと感じますか

選択肢	H25 年度	H27 年度	H29 年度	R 元年度
①住みよい	31.2%	24.9%	25.6%	24.3%
②どちらかといえば住みよい	40.9%	46.8%	46.6%	49.2%
③どちらかといえば住みにくい	9.1%	10.0%	10.4%	8.8%
④住みにくい	7.0%	2.7%	4.2%	4.7%
どちらともいえない・無回答	11.8%	15.5%	13.1%	13.1%

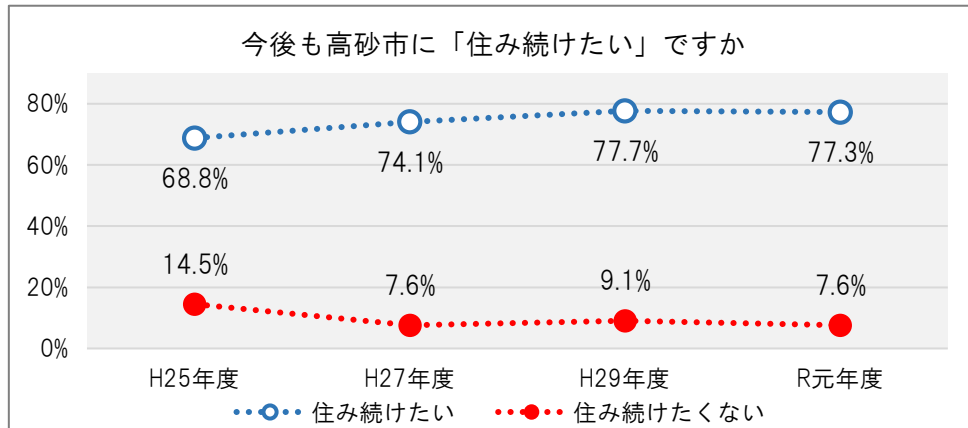
①と②を「住みよい」、③と④を「住みにくい」とし、その率の推移は以下のとおり。



3 高砂市に今後も住みたいと思いますか

選択肢	H25 年度	H27 年度	H29 年度	R 元年度
①住みたい	43.5%	41.0%	41.3%	39.3%
②どちらかといえば住みたい	25.3%	33.1%	36.4%	38.0%
③どちらかといえば住みたくない	9.1%	6.1%	6.4%	4.5%
④住みたくない	5.4%	1.5%	2.7%	3.1%
どちらともいえない	16.6%	18.2%	13.2%	15.1%

①と②を「住みたい」、③と④を「住みたくない」とし、その率の推移は以下のとおり。



2) 施策別評価分析

高砂市が取り組んでいる施策について、満足度と重要度の調査結果から、評価分析します。

【満足度スコア】

満足度を、「満足」「まあ満足」と回答した人の割合から「やや不満」「不満」と回答した人の割合を引いた率とします。

満足度スコアがプラスの場合は、満足と感じている人が不満と感じている人よりも多いことがわかります。

【重要度】

有効回答者数のうち、「重要」「やや重要」と回答した人の割合です。

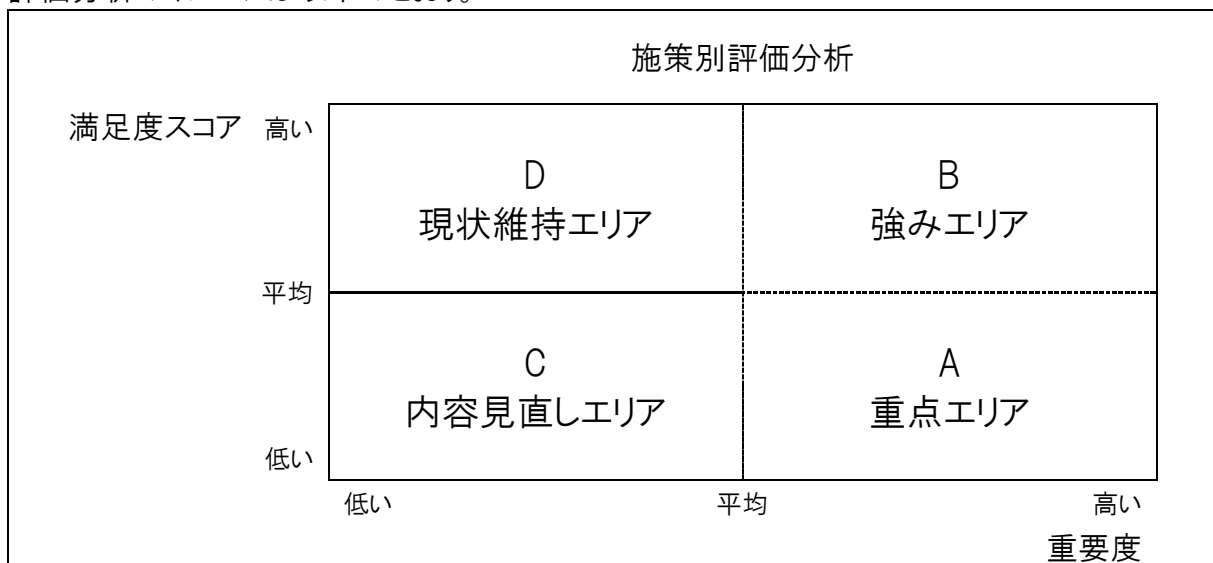
例えば25%であれば、回答者のうち4人に1人が重要と思っていることがわかります。

【施策別評価分析】

満足度スコアと、重要度を分布図に示し、平均値を基準として、以下のとおり評価分析します。

- A 重点エリア 平均よりも重要だが、満足度が平均より低い。→優先的に取り組む重点施策
- B 強みエリア 平均よりも重要で、満足度も平均よりも高い。→高砂市の強み施策
- C 内容見直しエリア 平均よりも重要でないが、満足度が平均より低い。
→取組内容が市民のニーズと違う可能性があり、見直しが必要な施策
- D 現状維持エリア 平均よりも重要でないが、満足度が平均より高い→現状維持の施策

評価分析のイメージは以下のとおり。



【令和元年度市民満足度調査結果の評価分析】

平均値	満足度スコア	4.4%	重要度	61.7%
-----	--------	------	-----	-------

A 重点エリアに評価された施策は、以下の 15 項目

施策		満足度スコア	重要度
2-2-2	地域医療の強化	-21.6%	79.1%
5-3-2	地域交通網の充実	-30.1%	75.3%
2-1-5	高齢者福祉、介護保険事業の充実	-2.0%	74.2%
4-1-3	交通安全対策	0.9%	71.2%
5-3-2	社会インフラの整備	-7.9%	70.3%
2-1-4	障がい者福祉の充実	-4.9%	69.9%
7-1-1	市の財政運営の健全化	-12.4%	68.3%
7-1-1	老朽化した公共施設の整備	-15.7%	67.4%
1-1-1	市民参画	-2.0%	64.7%
5-2-1	地域環境の保全	2.5%	64.0%
5-3-3	公園・緑地の整備	-3.6%	63.8%
5-2-1	地球温暖化対策	1.3%	63.8%
5-3-1	市街地整備	-19.6%	63.1%
2-1-2-3	青少年(若者)への支援	-7.0%	62.7%
2-1-3	ひとり親家庭の自立支援	-4.5%	62.5%

B 強みエリアに評価された施策は、以下の 21 項目

施策		満足度スコア	重要度
4-1-2	浸水対策	20.4%	83.4%
4-1-2	防災活動	9.0%	83.1%
5-1-3	ごみ処理	42.2%	80.7%
2-1-1	地域福祉の取組の推進	7.4%	80.7%
4-1-1	救急活動	37.5%	78.2%
4-1-3	防犯活動	4.5%	78.0%
5-1-1	上水道の供給	51.5%	75.7%
5-1-2	下水道の整備	39.6%	75.1%
2-1-2-1	子育て支援の充実	14.6%	73.9%
4-1-1	消防活動	33.0%	72.4%
2-3-1	福祉医療の充実	6.3%	71.0%
3-1-2	義務教育(小中学校)の充実	21.1%	69.4%
2-2-1	健康増進	26.5%	69.0%
2-1-2-2	結婚・出産への支援	8.1%	67.6%
3-3-1	社会教育施設の整備	35.1%	66.7%
3-2-1	学習環境の整備	18.9%	65.8%
1-1-2	広報・広聴活動の充実	25.4%	64.9%

3-1-1	幼児教育(幼稚園)の充実	15.5%	64.9%
3-1-2	家庭・地域と学校との連携	12.6%	63.8%
1-1-3-1	地域コミュニティ活動の促進	9.9%	62.9%
5-1-3	広域ごみ処理の推進	16.4%	62.0%

C 内容見直しエリアに評価された施策は、以下の 24 項目

施策		満足度スコア	重要度
7-1-1	市職員の人材育成の推進	-12.8%	61.3%
1-1-3-2	移住・定住・交流の促進	-0.4%	60.9%
6-1-4	商業の振興	-17.8%	60.2%
5-3-1	河川・港湾の整備、活用	3.1%	59.3%
5-3-1	土地利用	-15.1%	59.1%
6-2-1	勤労者対策	-9.2%	58.2%
7-1-1	行政改革の推進、行政経営	-11.7%	57.8%
7-2-1	広域行政の取組	0.9%	55.1%
4-2-1	消費生活	0.7%	52.8%
5-3-1	景観まちづくり	-7.2%	52.1%
7-1-1	市役所庁舎の整備	1.3%	51.5%
4-2-1	平和行政の推進	4.0%	50.1%
7-2-2	市の情報施策の充実	-2.5%	49.4%
2-3-1	生活困窮者への支援	-3.1%	49.2%
6-1-3	工業の振興、企業誘致の促進	4.3%	49.2%
6-3-1	観光の振興	-15.5%	47.2%
3-5-2	男女共同参画の推進	2.2%	47.2%
5-3-1	市営住宅	-8.5%	46.3%
3-4-1	芸術・文化の振興	2.0%	43.8%
3-5-1	人権教育・人権啓発	2.7%	42.5%
6-3-1	地域交流	-12.8%	42.0%
6-1-1	農業の振興	-0.7%	39.1%
6-1-2	水産業の振興	-1.8%	38.4%
3-4-2	国際交流の推進	-4.9%	37.3%

D 現状維持エリアに評価された施策は、以下の 4 項目

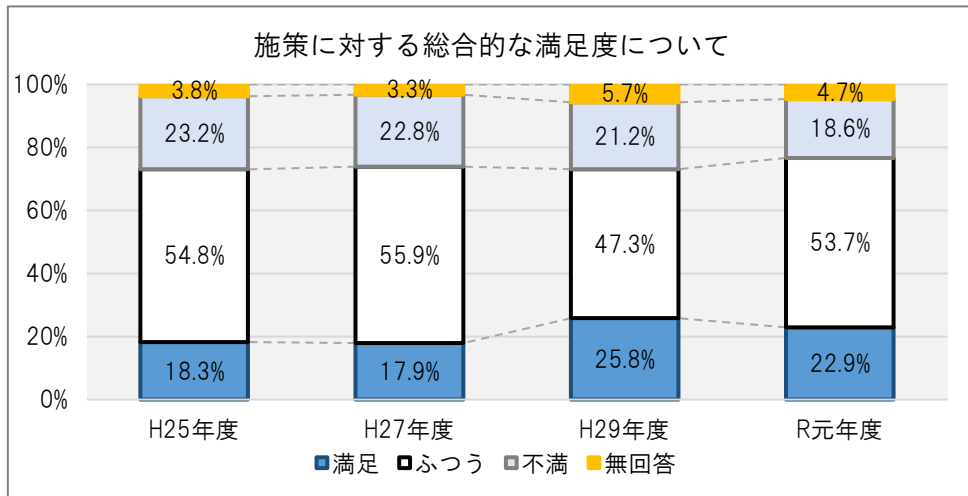
施策		満足度スコア	重要度
5-1-3	し尿処理	16.6%	54.6%
3-3-1	生涯学習の充実	9.0%	54.4%
5-1-3	斎場の運営、市有墓地の整備	19.1%	51.2%
3-3-2	スポーツ活動の推進	9.7%	49.4%

3) 行政施策に対する総合的な満足度

〈高砂市の行政施策に対する総合的な満足度〉

選択肢	H25 年度	H27 年度	H29 年度	R 元年度
①満足	1.6%	0.9%	3.3%	2.5%
②やや満足	16.7%	17.0%	22.5%	20.4%
③ふつう	54.8%	55.9%	47.3%	53.7%
④やや不満	16.7%	18.5%	15.7%	14.8%
⑤不満	6.5%	4.3%	5.5%	3.8%
無回答	3.8%	3.3%	5.7%	4.7%

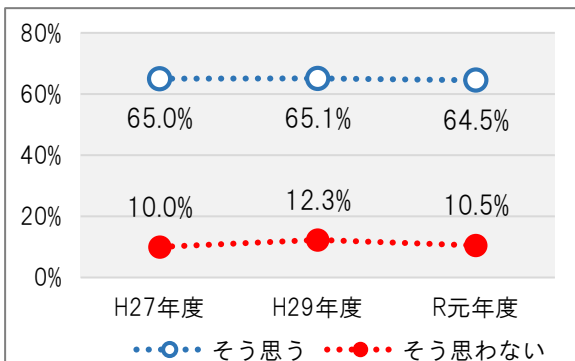
①と②を「満足」、④と⑤を「不満」とし、その率の推移は以下のとおり。



4) 生活における実感

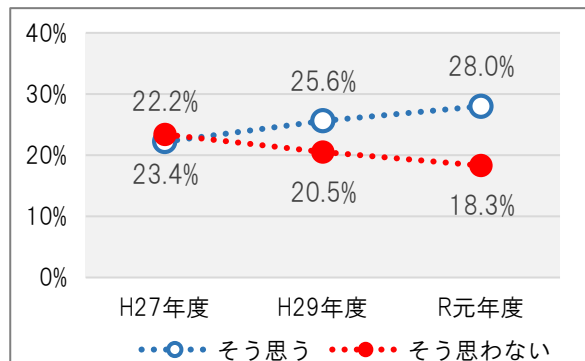
〈「広報たかさご」が役に立つ〉

	H27	H29	R 元
そう思う	65.0%	65.1%	64.5%
そう思わない	10.0%	12.3%	10.5%



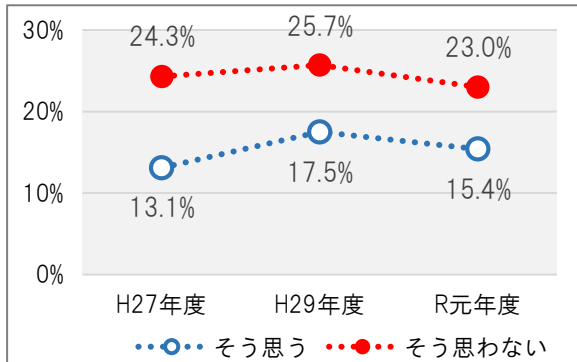
〈情報公開が積極的に行われている〉

	H27	H29	R 元
そう思う	22.2%	25.6%	28.0%
そう思わない	23.4%	20.5%	18.3%



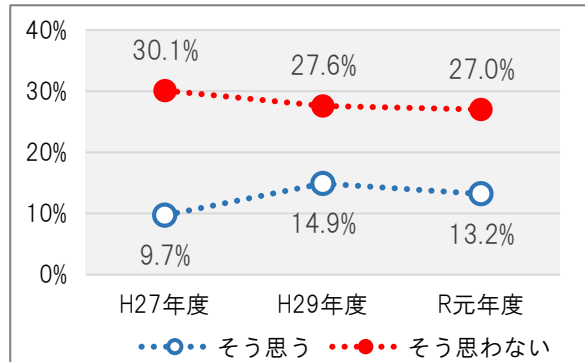
〈広く市政に参加できる機会が保障されている〉

	H27	H29	R元
そう思う	13.1%	17.5%	15.4%
そう思わない	24.3%	25.7%	23.0%



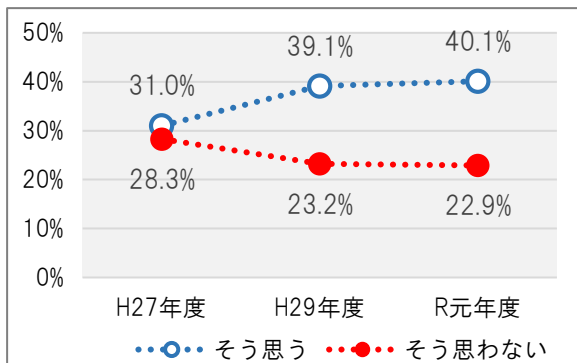
〈市の行政が効率化されている〉

	H27	H29	R元
そう思う	9.7%	14.9%	13.2%
そう思わない	30.1%	27.6%	27.0%



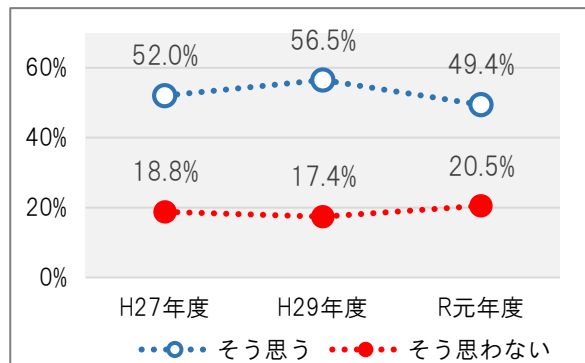
〈市職員の窓口対応に満足している〉

	H27	H29	R元
そう思う	31.0%	39.1%	40.1%
そう思わない	28.3%	23.2%	22.9%



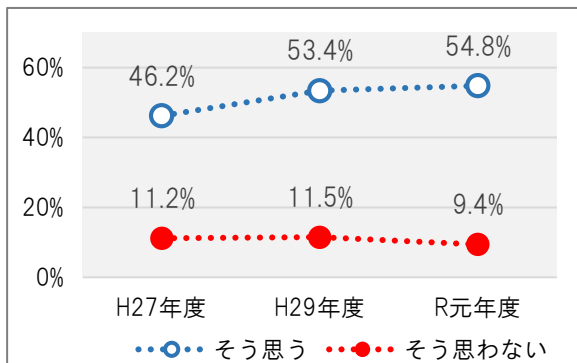
〈安心して医療を受けられる〉

	H27	H29	R元
そう思う	52.0%	56.5%	49.4%
そう思わない	18.8%	17.4%	20.5%



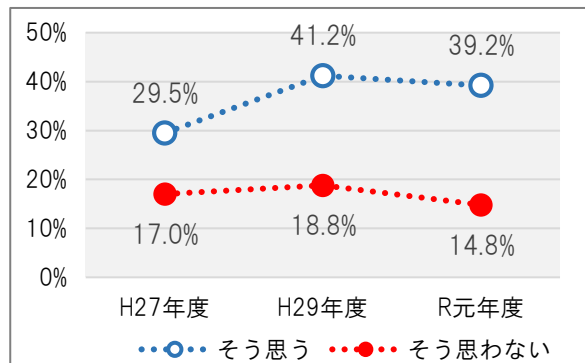
〈安心して子どもを学校に送り出せる〉

	H27	H29	R元
そう思う	46.2%	53.4%	54.8%
そう思わない	11.2%	11.5%	9.4%



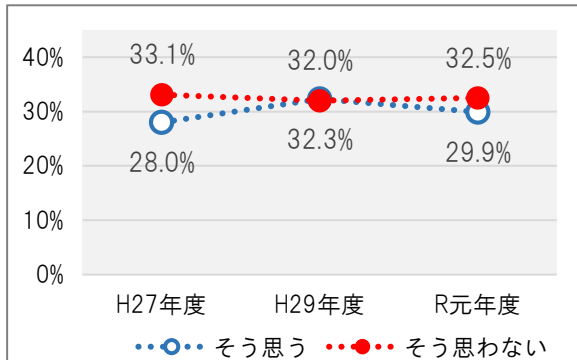
〈安心して子どもを生き育てられる〉

	H27	H29	R元
そう思う	29.5%	41.2%	39.2%
そう思わない	17.0%	18.8%	14.8%



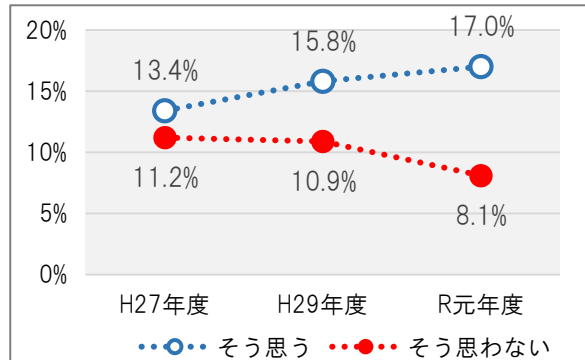
〈高齢者になっても安心して生活できる〉

	H27	H29	R元
そう思う	28.0%	32.3%	29.9%
そう思わない	33.1%	32.0%	32.5%



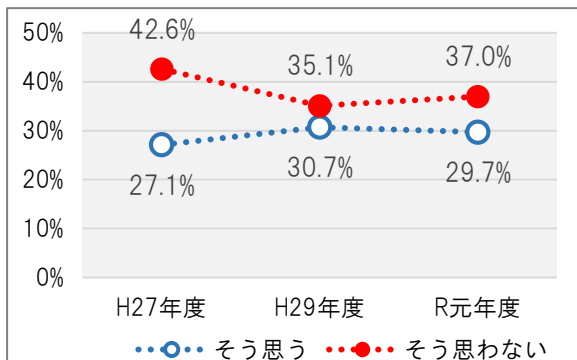
〈消費トラブルに適切に対応している〉

	H27	H29	R元
そう思う	13.4%	15.8%	17.0%
そう思わない	11.2%	10.9%	8.1%



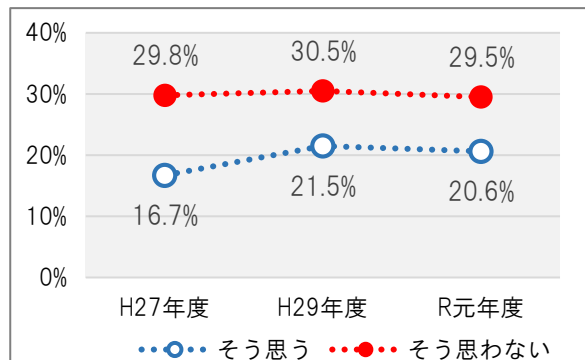
〈安心して歩道を通行できる〉

	H27	H29	R元
そう思う	27.1%	30.7%	29.7%
そう思わない	42.6%	35.1%	37.0%



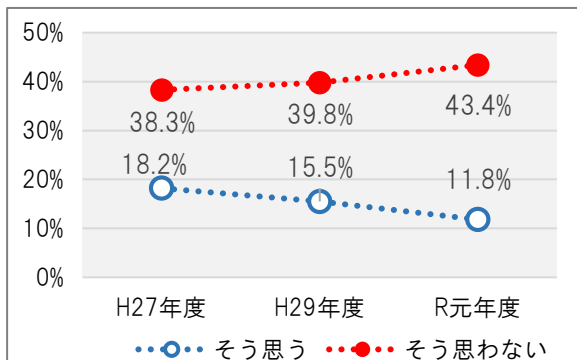
〈高砂市らしい景観がつくられている〉

	H27	H29	R元
そう思う	16.7%	21.5%	20.6%
そう思わない	29.8%	30.5%	29.5%



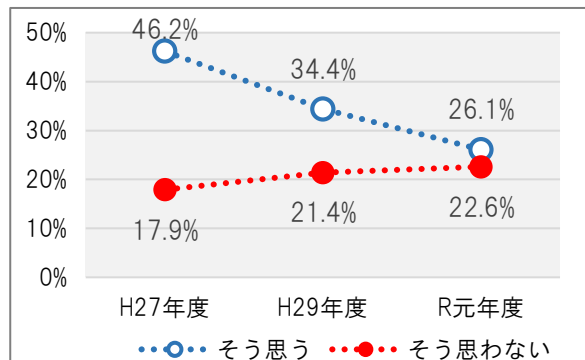
〈人種差別・部落差別など人権差別がある〉

	H27	H29	R元
そう思う	18.2%	15.5%	11.8%
そう思わない	38.3%	39.8%	43.4%



〈治安が悪くなってきている〉

	H27	H29	R元
そう思う	46.2%	34.4%	26.1%
そう思わない	17.9%	21.4%	22.6%



2 体系別の施策指標による評価

1) みんなの個性を生かす市民参画都市

〈基本目標〉

まちづくりの主役は一人ひとりの市民です。
市民、事業者、行政等が、それぞれの役割を理解し、相互の理解のもと、一体となってまちづくりを進めます。
そのまちづくりを総合的に推進するため、行政情報の積極的な公開に努め、わかりやすく開かれた行政運営を行います。

〈施策指標評価〉

A	B	C
5	3	9 うちC ⁻ 4

- A: 調査時点で、目標値と比べて良い(10%超)
B: 調査時点で、目標値と同程度(±10%以内)
C: 調査時点で、目標値と比べて悪い(10%超)
C⁻: 大きな課題がある

〈評価・検証〉

広報広聴活動や地域コミュニティ活動が高砂市の強みです。
高砂市のまちづくりは、行政だけで進められるものではなく、市民・団体・事業者等との計画段階からの話し合い、連携、協力が重要であり、積極的な市役所からの行動が求められています。
市民・団体・事業者等の自主的な活動を支援し、市役所はその意見を十分に反映し、参加・参画しやすい開かれた行政運営に取り組む必要があります。地域コミュニティの担い手不足が顕在化する一方で、市民活動、事業者の地域貢献など、新たな担い手の動きがあります。
また、移住・定住施策を抜本的に見直し、受け取る人に伝わるシティプロモーション、移住相談の推進など、高砂市に愛着を持ち、つながりを感じる人、関係人口を増やすことが重要です。

施策番号 1-1-1:市民との協働の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R2年度	
市民参画施策に満足している市民の割合 (経営企画室)	10.6%	R 元年度	16.9%	15.0%	A
審議会等の機関のうち公募委員枠を設けている 附属機関等の割合(経営企画室)	7.1%	R2年度	25.4%	15.0%	A
アダプトプログラム実施団体数 (市民活動推進課)	5団体	R2年 10 月	9団体	8団体	A
市民提案型地域協働推進事業提案数 (未来戦略推進室+市民活動推進課)	7件	R元年度	21件	10件	A
市民顕彰表彰数 (秘書広報公聴室)	37人	R元年度	41人・団体	45人・団体	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業(計画)	対応・改善した主な事業(実績)
① 協働事業の推進 ▷参画と協働推進事業	○市民顕彰事業の実施 ○アダプトプログラム推進事業の実施 ○公募委員枠の拡大 ○市民提案型地域協働推進事業の実施 ○未来戦略推進活動支援補助金の実施
② 自治・ふるさと意識の高揚 ▷市民顕彰事業	
③ アダプトプログラムの推進 ▷参画と協働推進事業アダプトプログラム推進事業	
④ 公募委員枠の拡大 ▷公募委員枠の拡大	
⑤ 市民の発想力による地域の活性化 ▷市民提案型地域協働推進事業	

〈課題〉

地域活動、市民活動と、市役所との協働の進化
若い世代も女性も、幅広い市民が参加・参画しやすい仕組みづくり
様々な主体との協働と連携

〈市民満足度調査〉

市民参画

	H25	H27	H29	R 元
評価 分析	重点	内容 見直し	重点	重点

施策番号 1-1-2: 広報・広聴活動の充実

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
広報・広聴施策に満足している市民の割合 (経営企画室)	35.9%	R 元年度	39.1%	50.0%	C
市民満足度調査の回収率 (経営企画室)	39.7%	R 元年度	44.5%	50.0%	C
ホームページのアクセス件数(年間) (秘書広報広聴室)	425,553 件	R2年10月	717,490 件	550,000 件	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 広報誌の充実 ▷ 広報誌の発行	○ 広報たかさごの発行 ○ ホームページによる情報提供
② 情報発信の充実 ▷ 広報戦略の策定 ▷ ホームページの充実と運用 ▷ SNSの活用 ▷ ケーブルテレビ行政番組の収録 ▷ マスコミへの情報提供	○ Facebook、YouTube インスタグラムの開設 ○ 報道機関との意見交換会の実施 ○ 市民満足度調査の実施 ○ 期日前投票立会人の公募の実施
③ 市民の市政参加の促進 ▷ ふれあい座談会の実施 ▷ まちづくり出前講座の実施 ▷ パブリックコメントの充実	
④ 市民満足度調査の実施 ▷ 市民満足度調査の実施(隔年)	
⑤ 市民相談の充実 ▷ 市民相談の実施 ▷ 法律相談の実施 ▷ 行政相談の実施 ▷ 行政書士相談の実施	

〈課題〉

市民が欲しい情報が簡単に得られる、行政からの情報の提供
市役所が届けたいと思う情報が、届けたい市民に届く、市役所からの情報の提供
市民が、市役所に活かして欲しい情報が、市役所に届き、改善に反映

〈市民満足度調査〉

広報広聴活動の充実

	H25	H27	H29	R 元
評価 分析	強み	強み	強み	強み

施策番号 1-1-3-1:コミュニティ活動の支援

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
NPO法人数 (市民活動推進室)	19 法人	R2年10月	26法人	30 法人	C
自治会加入世帯数 (市民活動推進室)	33,191 世帯	R2年4月	32,950 世帯	33,191 世帯	B
地域コミュニティ活動の促進施策に満足している市民の割合(経営企画室)	24%	R 元年度	26.3%	30%	C
ポイントカード普及枚数 (市民活動推進室)	一枚	R2年2月	18,632 枚	50,000 枚	C-

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 地域コミュニティの活性化 ▷自治振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ○地域交流センター整備の検討 ○認可地縁団体の支援、補助制度の実施 ○市民提案型地域協働推進事業の実施 ○にこにこポイント制度の開始
② 自治会活動の活性化 ▷自治振興事業 ▷集会施設等整備資金融資事業	
③ 地域のリーダーの育成 ▷自治振興事業 ▷参画と協働推進事業	
④ コミュニティ意識の高揚 ▷自治振興事業	
⑤ まちづくり団体等への支援 ▷自治振興事業 ▷参画と協働推進事業	
⑥ 市民活動等に対するポイント制度の構築 ▷高砂にこにこポイント制度事業 ▷商店への電子マネー導入支援	

〈課題〉

市民の活動の活性化による、市役所だけではない複数のセーフティネットの構築
にこにこポイントカード制度の効果測定と目的の確認・検証
市民活動・コミュニティ活動の拠点形成
担い手不足に対応できるコミュニティ団体のあり方とエリアの検討

〈市民満足度調査〉

地域コミュニティ活動の促進

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	現状維持	強み	強み	強み

施策番号 1-1-3-2:移住・定住・交流の促進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
ホームページの定住・移住促進ページのアクセス件数(月平均)(秘書広報広聴室)	一件	R2年 9月末累計	7,170 件	35,000 件	C ⁻
転出超過者数 (経営企画室)	291 人	R元年	350 人	0 人	C ⁻
移住相談件数 (未来戦略推進室)	一件	R2年 10 月累計	54 件	120 件 (累計)	C ⁻
空き家バンク登録数 (都市政策課)	4 件	R2年 10 月末	31 件	30 件	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 「たかさご」への定着の支援 ▷住みよさなどの情報発信 ▷社宅・寮の整備促進	○家賃補助、新築補助の実施 ○住生活基本計画の策定 ○Facebook、YouTube インスタグラムの開設 ○ふるさと納税制度
② 「たかさご」への人の流れをつくる ▷移住相談窓口の設置 ▷専用ホームページの開設 ▷ふるさと回帰者支援	
③ 地元雇用の促進 ▷地元雇用促進事業	
④ シティプロモーション ▷市のプロモーション事業 ▷ふるさと納税記念品事業	

〈課題〉

移住・定住施策の抜本的な見直しとシティプロモーション事業の取組強化
 移住につなげる関係人口づくり
 若い世代の地元愛着を定住につなげる
 転出超過の原因に対応する施策の実施

〈市民満足度調査〉

移住・定住・交流の促進

	H25	H27	H29	R 元
評価 分析	—	—	内容 見直し	内容 見直し

2) 誰もが生き生きと暮らせる健康福祉都市

〈基本目標〉

すべての市民が、住み慣れた地域の中で、自分らしく、自立した生活を営むことができる社会を築くため、その基盤となる福祉・保健・医療に関する施策の一層の推進を図ります。安心して子供を産み育てることができる環境を整備し、高齢者や障がいのある人など生活支援を必要とする人々が、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

また、自助、共助、公助の相互の連携をとりあい、地域社会が一体となるまちづくりを進めます。

〈施策指標評価〉

A	B	C	
14	8	11	うちC ⁻ 9

A:調査時点で、目標値と比べて良い(10%超)

B:調査時点で、目標値と同程度(±10%以内)

C:調査時点で、目標値と比べて悪い(10%超)

C⁻:大きな課題がある

〈評価・検証〉

地域福祉、出産・子育て支援、健康増進、福祉医療は高砂市の強みです。

すべての市民がその人らしく個人として尊重され、必要な支援が受けられるとともに、自立した生活をおくれる社会を築くことは重要です。

若者の夢や希望をかなえ、子どもを安心して産み育てることができる環境をつくり、また社会全体で子どもたちを育てる社会をつくることが重要です。

若者、ひとり親家庭、障がい者、高齢者の皆さん誰もが社会に参加し、その人らしく活躍できるよう、行政運営には、市民・団体・事業者等との対話を重視し、困りごとを一緒に考え、助言し、かつ関係機関の連携を促す姿勢が求められています。

また、必要な人が適切な医療を受けられる医療体制を、広域連携等により維持することが重要です。

施策番号2-1-1:地域福祉の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
地域の福祉の取組に満足している市民の割合 (経営企画室)	26.7%	R 元年度	31.9%	30%	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 安全で安心して暮らせる環境づくり ▷セーフティネットの構築 ▷公共施設や交通機関のバリアフリー化 ▷避難行動要支援者への支援の推進	○高砂市地域福祉計画の策定 ○高砂市障害福祉計画の策定 ○生活困窮者自立支援事業
② 福祉や地域に対する意識の向上 ▷地域のイベントへのボランティア参加の呼びかけ ▷福祉に関する体験学習	○ユアアイ帆っとセンター ○公共施設バリアフリー情報の公表 ○災害時支援ボランティア制度
③ 情報提供の充実及び情報の共有化 ▷情報誌の発行やホームページの掲載 ▷点字資料の作成 ▷公共施設のバリアフリー情報の公開	○成年後見制度事業 ○高齢者等見守り・SOS ネットワーク事業 ○支え合い協議会の設置
④ 交流の促進とネットワークの構築 ▷障がい者自立支援協議会の活性化 ▷交流事業の推進	
⑤ 福祉や地域活動の担い手づくり・拠点づくり ▷福祉リーダー育成の講座の開催 ▷ユアアイ帆っとセンターの活用	
⑥ 福祉サービス・制度の適切な利用の推進 ▷出前講座の開催 ▷パンフレットの作成 ▷相談支援の実施	

〈課題〉

地域と事業者と行政が協議し、役割を分担し、連携して実施する福祉施策
避難行動要支援者に対する支援の明確化
市民の共助意識の醸成

〈市民満足度調査〉

地域福祉の取組の推進

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	強み	強み	強み	強み

施策番号2-1-2-1:子育て支援の充実

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
子育て支援施策に満足している市民の割合 (経営企画室)	19.1%	R元年度	29.2%	20.0%	A
ファミリーサポートセンター会員数 (子育て支援課)	550人	R元年度	862人	600人	A
子育て支援センター利用者数 (子育て支援課)	13,067人	R元年度	27,910人	20,000人	A
保育所待機児童数 (幼児保育課)	0人	R元年度	0人	0人	A
学童保育所児童数 (幼児保育課)	656人	R元年度	885人	711人	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 子育て家庭への支援 ▷地域子育て支援拠点事業 ▷つどいの広場事業 ▷子育て相談事業	○子ども・子育て・若者支援プランの策定 ○子育て支援センターの開設と事業の実施 ○子育て相談事業 ○つどいの広場事業 ○要保護・要支援児童家庭へのヘルパー派遣の実施 ○ファミリーサポートセンター事業の活性化 ○保育料の負担軽減 ○保育所及び学童保育の待機児童ゼロの継続 ○病児保育事業の充実(送迎サービスの開始) ○家庭児童相談室の設置、体制強化 ○認定こども園の環境整備 ○虐待の早期発見・対応のための関係機関への周知、啓発、研修の実施 ○3～5才児の保育料及び副食費の無償化
② 子育て支援のコミュニティ整備 ▷ファミリーサポートセンター事業 ▷子育て支援センター事業	
③ 就労と子育ての両立支援 ▷保育所事業 ▷延長保育等 ▷学童保育事業	
④ 子育てに伴う経済的負担の軽減 ▷児童手当等給付事業 ▷医療費助成事業 ▷ひとり親家庭等自立支援事業	
⑤ 子育てに係る情報提供の充実 ▷地域子育て支援拠点事業	
⑥ 児童虐待の早期発見と早期対応 ▷家庭児童相談室 ▷高砂市要保護児童対策地域協議会	
⑦ 認定こども園への移行 ▷幼保連携型認定こども園事業	

〈課題〉

子育て支援施策を継続するための担い手の確保 子育て施策のPR、子育て施策のニーズ把握

〈市民満足度調査〉

子育て支援の充実

	H25	H27	H29	R元
評価分析	強み	重点	強み	強み

施策番号2-1-2-2:結婚、出産への支援

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
子育てに不安や負担を感じている人の割合 (子育て支援課)	43.9%	H30年	40.7%	39.5%	B
婚姻率 (経営企画室)	4.57	H30年	3.90	5.00	C-
合計特殊出生率 (経営企画室)	1.34	R元年	1.30	1.60	C-

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 安心して子どもを産み、育てることのできる環境の整備 ▷妊婦相談 ▷妊婦健康診査費の助成 ▷妊婦歯科健診 ▷妊婦訪問、妊婦相談	○子育て世代包括支援センターの開設 ○妊婦、新生児等健診の実施 ○不妊・不育治療補助の開始 ○ご当地婚姻届・出生届の作成 ○多子世帯に対する保育料の負担軽減
② 健やかに親子が暮らせるための切れ目ない支援 ▷チラシ、ポスター ▷乳幼児子育て相談 ▷新生児訪問指導 ▷おかあさんの育児教室 ▷きらりんくらぶ ▷ひだまりサロン ▷子どものからだ・こころ・ことば相談 ▷5歳児相談	
③ プライダル都市のアピールの強化 ▷婚活事業の支援 ▷ご当地婚姻届、出生届	
④ 出産を希望する人への支援 ▷不妊治療の助成	
⑤ 多子世帯への支援 ▷多子世帯への就学前教育・保育施設の利用者負担の軽減	

〈課題〉

合計特殊出生率が上がらない要因に対応する施策
地域・社会全体での子育て

〈市民満足度調査〉

結婚・出産への支援

	H25	H27	H29	R元
評価分析	—	—	強み	強み

施策番号2-1-2-3:青少年(若者)への支援

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
39歳以下の審議会等での委員数 (経営企画室)	22人	R2年度	17人	40人	C-

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 青少年(若者)施策の実施	○若者支援計画の策定 ○青少年相談電話の設置 ○子ども・子育て・若者会議 若者部会の設置 ○相談窓口パンフレット作成、配布
② 青少年(若者)の相談事業の実施	
③ 若者の夢をかなえる仕組みづくり ▶若者会議の設置 ▶官民連携による若者支援	

〈課題〉

若者の活躍を支援する施策、投資の不足
 中学生・高校生も含めた幅広い若い世代の地域活動や行政への参加

〈市民満足度調査〉

青少年(若者)への支援

	H25	H27	H29	R元
評価分析	—	—	重点	重点

施策番号2-1-3:ひとり親家庭の自立支援

〈施策指標〉

指標名	実績値		目標値	評価
	H25 年度	R2 年度	R 2 年度	
ひとり親家庭の自立支援施策に満足している市民の割合(経営企画室)	7.6%	R 元年度 9.7%	8.0%	A
自立支援事業の利用者の就労の割合(地域・障がい福祉課)	78%	R 元年度 100%	80%	A
自立支援プログラム策定者の就労の割合(地域・障がい福祉課)	83%	R 元年度 69%	85%	C-
ひとり親家庭医療費助成対象者数(国保医療課)	1,876 人	R 元年度 602 人	850 人	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 就労支援の充実 ▷教育訓練給付金事業 ▷高等職業訓練促進給付金事業 ▷自立支援プログラム策定事業	○ひとり親就職技能資格取得のための給付金制度 ○学童保育事業の実施 ○児童扶養手当の給付 ○経済的支援の情報提供 ○ファミリーサポートセンター事業の実施
② 子育て・生活支援の充実 ▷ひとり親家庭等家事支援事業 ▷学童保育事業 ▷ファミリーサポートセンター事業	
③ 経済的支援の推進 ▷児童扶養手当給付 ▷母子・父子寡婦福祉資金貸与事業	
④ 相談・情報提供体制の充実 ▷母子・父子自立支援相談事業 ▷ハローワークひとり親就労サポート事業	

〈課題〉

地域活動の充実による複合的な相談支援体制
ひとり親家庭自立支援施策対象者のニーズに寄り添う施策の実施

〈市民満足度調査〉

ひとり親家庭の自立支援

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	重点	重点	内容見直し	重点

施策番号2-1-4:障がい者の自立と社会参加への支援

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
障がい者福祉施策に満足している市民の割合 (経営企画室)	9.4%	R元年度	11.9%	10.0%	A
計画相談支援、障がい児相談支援利用者の 割合(地域・障がい福祉課)	計 59.6%	R元年度	100%	100%	A
	児 50.0%	R元年度	児100%	100%	A
地域移行支援利用者数 (地域・障がい福祉課)	2人	R元年度	11人	5人	A
就労移行支援利用者数 (地域・障がい福祉課)	47人	R元年度	237人	200人	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 障がい者施策の周知及び相談支援体制等の充実 ▷高砂市障がい者自立支援協議会	○高砂市障害者計画 ○障がい者自立支援協議会 ○計画相談支援、障がい児相談支援 ○障がい者基幹相談支援センターの開設 ○障害児相談支援
② 総合的なケアマネジメント体制の推進 ▷計画相談支援、障がい児相談支援 ▷基幹相談支援センターの設置	
③ 障がい福祉サービス等の充実 ▷障がい福祉サービス、障がい児サービス給付	
④ 相談・情報提供体制の充実 ▷就労支援サイトの運用、周知 ▷計画相談支援、障がい福祉サービス(就労系)	
⑤ 障がい児への教育・保育の充実 ▷児童発達支援センター、保育所等との相談 ▷母子保健事業	

〈課題〉

地域活動の充実による複合的な相談支援体制
障がい者福祉施策対象者のニーズに寄り添う施策の実施

〈市民満足度調査〉

障がい者福祉の充実

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	重点	重点

施策番号2-1-5: 高齢者の福祉と社会参加の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
高齢者福祉施策に満足している市民の割合 (経営企画室)	16.1%	R 元年度	18.0%	18%	B
いきいき百歳体操自主グループ数 (高年介護課)	12 グループ	R 元年度	88 グループ	200 グループ	C
認知症サポーター数(累計) (高年介護課)	2,722 人	R 元年度	8,344 人	10,000 人	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 地域包括ケア体制の整備 ▷地域ケア会議の充実 ▷認知症高齢者対策の推進 ▷在宅医療と介護の連携強化	○地域ケア推進会議 ○地域包括ケア体制 ○介護予防・生活支援サービス事業の支援 ○認知症相談センター、認知症カフェ ○老人クラブ支援 ○生きがい対応型デイサービス ○地域包括支援センター総合相談支援 ○いきいき百歳体操 ○高齢者・障がい者対象個別収集事業の開始
② 社会参加と交流の促進 ▷老人クラブ ▷高齢者の生きがい・体力づくり ▷集いの場づくり	
③ 自立を支える福祉サービスの提供 ▷日常生活支援総合事業の充実・強化 ▷相談・支援体制の充実 ▷高齢者福祉サービスの充実	
④ 総合的な介護予防の推進 ▷いきいき百歳体操の啓発、自主グループの育成・支援 ▷介護予防に関するボランティア育成	
⑤ 安心できる介護保険サービスの提供 ▷居宅サービスの充実 ▷地域密着型サービスの充実 ▷施設サービスの充実	
⑥ 介護保険事業の円滑な運営 ▷要介護認定調査の質の向上 ▷委託調査のチェック・点検の強化 ▷適切なケアプランの推進	

〈課題〉

地域活動の充実による地域包括ケア体制の充実
高齢者福祉施策対象者のニーズに寄り添う施策の実施

〈市民満足度調査〉

高齢者福祉、介護保険事業の充実

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	重点	重点	重点	重点

施策番号2-2-1:健康づくりの推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
日常生活動作が自立している期間の延伸	男性 77.87 年	R元年度	79.49 年	男性 78.87 年	B
	女性 81.93 年	R元年度	83.74 年	女性 82.93 年	B
特定健診受診率	18.3%	R元年度	20.3%	60.0%	C ⁻
胃がんリスク検診受診率	—%	H26年度 ~ R元年度	27.2%	10.7%	A
毎日ストレスを感じている人の割合	49%	R元年度	56%	44%	C ⁻

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 日常生活動作が自立している期間の延伸 ▷健康診査 ▷がん検診 ▷健康相談 ▷健康教育 ▷訪問指導	○健康診査、がん検診等の充実 ○食育事業 ○いきいき百歳体操 ○歯科健診 ○予防接種補助の充実 ○健康推進協議会
② ライフステージに応じた健康づくり ▷健康診査・健康管理 ▷食育事業 ▷いきいき百歳体操 ▷歯周病検診 ▷予防接種	
③ 感染症の発生予防 ▷予防接種 ▷広報誌 ▷ちらし・ポスター	
④ 地域のつながりや支え合いの強化 ▷すずらの会、ひまわり回、いずみ会などの 自主組織活動の育成 ▷健康推進協議会など地域の人を交えた会 議の開催	

〈課題〉

健康診査や予防に対する意識の向上
人生100年時代に対応する健康寿命の延伸
地域包括ケア体制の充実

〈市民満足度調査〉

健康増進

	H25	H27	H29	R元
評価分析	強み	強み	強み	強み

施策番号2-2-2:安全・安心な医療体制の充実

〈施策指標〉

指標名	実績値		目標値	評価
	H25 年度	R2年度	R 2 年度	
地域医療施策に満足している市民の割合 (経営企画室)	21.6%	R 元年度 17.5%	50%	C ⁻
かかりつけ医のいる人の割合 (健康増進課)	64.4%	R2 年度 69.1%	70.0%	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 地域医療の充実 ▷医療機関ネットワークの充実	○医師会・歯科医師会・薬剤師会等との連携 ○夜間急病(夜間急病センター)、休日診療の確保
② 夜間・休日診療体制の確保 ▷在宅当番医制 ▷夜間急病センター ▷東播磨圏域小児救急医療電話相談事業	○市民病院新改革プランの取組 ○市民病院の応援医師の確保 ○市民病院地域包括ケア病棟 ○市民病院訓練の実施 ○市民病院救急の受入体制
③ (市民病院)安定的な医師確保 ▷関連大学病院への派遣依頼 ▷ドクターバンク	
④ (市民病院)地域包括ケア病棟の導入 ▷地域包括ケア病棟の導入	
⑤ かかりつけ医の普及・啓発 ▷乳幼児から高齢者まで健(検)診時での啓発	
⑥ (市民病院)新型感染症や自然災害への対応、体制の強化 ▷高砂市新型インフルエンザ等対策行動計画 ▷高砂市市民病院防災マニュアル	
⑦ (市民病院)経営基盤の確立 ▷高砂市市民病院新改革プラン(経営の効率化・再編ネットワーク・経営形態の見直し・地域医療構想を踏まえた役割)	

〈課題〉

<p>地域包括ケア体制の充実 市民病院の経営改善、広域での医療体制での役割強化、開業医との連携強化 地域医療の体制の維持と担い手の確保</p>

〈市民満足度調査〉

地域医療の強化

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	重点	重点	重点	重点

施策番号2-3-1:社会保障制度の円滑な推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
生活困窮者支援施策に満足している市民の割合(経営企画室)	9.4%	R 元年度	7.9%	12.0%	C ⁻
福祉医療施策に満足している市民の割合(経営企画室)	20.7%	R 元年度	22.5%	40.0%	C
国民健康保険料収納率(現年度分)(国保医療課)	90.5%	R元年度	93.8%	93.0%	B
特定健診受診率(健康増進課)	18.3%	R元年度	20.3%	60.0%	C ⁻

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 国民健康保険料収納率向上対策の推進 ▷収納特別対策事業 ▷保険料賦課徴収事業	○未納者への早期対応 ○受診勧奨はがき対応 ○にこにこポイントカード ○健康診査、各種検診費用助成、周知 ○保健師による保健指導の実施(国保) ○地域福祉計画 ○生活困窮者への支援 ○就労支援プログラムの実施 ○福祉医療
② 特定健康診査制度の周知・啓発の推進 ▷特定健康診査事業 ▷高砂にこにこポイント制度の実施	
③ 国保加入者の健康保持と医療給付費の抑制 ▷住民検診補助事業 ▷生活習慣病重症化予防事業 ▷重複多受診者対策事業	
④ 国民年金制度の理解促進 ▷国民年金事業	
⑤ 生活困窮者の支援の推進 ▷生活保護事業 ▷自立相談支援事業 ▷住居確保給付金の支給 ▷一時生活支援事業	
⑥ 福祉医療制度の適切な運用 ▷医療費助成事業(老人、重度障害者、高齢重度障害者、母子家庭等、乳幼児等、こども医療費)	

〈課題〉

生活困窮者支援施策対象者のニーズに寄り添う施策の実施
健康診査、予防に対する意識の向上、複合的な相談支援体制

〈市民満足度調査〉

生活困窮者への支援

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	内容見直し	内容見直し	内容見直し	内容見直し

福祉医療

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	重点	強み	強み	強み

3) ふるさとを愛し思いやりとたくましが育つ教育文化都市

〈基本目標〉

人権尊重の理念に基づき、次世代を担う子どもたちが変化の激しい社会の中で生きていくために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の3つの資質能力をバランスよく育む教育を推進するとともに、家庭・学校・地域が一体となって安心して学べる学校づくり・地域社会づくりを進めます。

また、市民の健康志向にこたえる生涯スポーツの振興、芸術・文化を通じ生きがいをもって生きることのできる生涯学習社会づくりを進めます。

〈施策指標評価〉

A	B	C	
8	7	14	うちC- 7

A:調査時点で、目標値と比べて良い(10%超)

B:調査時点で、目標値と同程度(±10%以内)

C:調査時点で、目標値と比べて悪い(10%超)

C-:大きな課題がある

C※:目標年度での目標達成が可能なもの

〈評価・検証〉

就学前教育、小・中学校教育、教育環境の整備は高砂市の強みです。

学校、家庭、地域や事業者等が、協力しながら、子どもが学べる環境を整え、子どもたちが次の時代をつくる人となるよう、地域の大人たちが子どもを育てる環境を市民参画と協働によりつくるのが重要です。

子どもたちが学習し成長する環境には、子どもを良く知る教職員の果たす役割は大きいことから、教職員の人材を育成・確保できるよう、市民・団体・事業者等がより一層連携することが重要です。

また、いつでも誰でも生涯学習の機会があり、生きがいとつながりを感じる豊かな生活を過ごすために、自分から学び、活動したくなるよう市役所が支援することも必要です。

施策番号3-1-1:就学前教育の充実

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
3・4・5歳児の就園率	79.6%	R2年4月	97.0%	90%	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 就学前教育内容の充実 ▷保育内容、人権教育研究の推進 ▷園内研修会の実施 ▷3歳児教育の充実	○幼児教育アドバイザーの配置、職員への助言・研修の実施 ○保育、授業参観、合同研修の実施 ○ジョイントカリキュラム(就学前と学校教育)
② 就学前教育と小学校との連携強化 ▷小学校との連携連絡会の実施	○高砂市小中一貫教育連携会議と小中一貫教育の推進
③ 教職員の専門職としての意識の育成 ▷教育課程研修会 ▷保育研究研修会 ▷県教育委員会主催の幼稚園研修会への参加	○学校評議員による学校づくり参画 ○教職員研修 ○幼稚園・認定こども園での一時預かり事業の実施 ○認定こども園化における3歳児教育の実施(1号認定)
④ 地域に開かれた幼稚園事業の推進 ▷地域に開かれた幼稚園事業の推進(ふれあい保育・地域交流)	
⑤ 家庭教育の啓発 ▷家庭教育啓発資料(すこやかアップカレンダー)の配付	
⑥ 一時預かり事業(幼稚園型)の実施 ▷一時預かり事業(幼稚園型)	

〈課題〉

就学前の子どもに対する保育と教育を継続するための担い手の確保
 子どもの保護者どうしが気軽に交流できる場づくり
 荒井地区の認定こども園化

〈市民満足度調査〉

幼児教育(幼稚園)の充実

	H25	H27	H29	R元
評価分析	強み	現状維持	強み	強み

施策番号3-1-2:学校教育の充実

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
義務教育の充実実施に満足している市民の割合(経営企画室)	33.1%	R 元年度	30.1%	38%	C
小中一貫教育の実施校区数(学校教育課)	0 校区	R2年度	6 校区	6 校区	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 確かな学力の育成 ▷高砂市小中一貫教育推進会議 ▷学生スタディパートナー派遣事業 ▷補充学習等推進事業	○部活動講師委託、進路指導委託 ○指導用教材等の購入 ○自然活動、職業体験、地域行事
② 道徳教育の充実 ▷道徳授業研究の実施 ▷保護者、地域への道徳の時間の公開	○体力向上、食育教育 ○特別支援学級保護者対象教育相談 ○不登校指導補助員の配置
③ 健やかな体の育成 ▷学校体育の推進 ▷食育の推進 ▷運動部活動の振興	○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
④ 体験活動の推進 ▷小学校での環境体験学習、自然学校の実施 ▷中学校でのトライやるウィークの実施	○教職員研修
⑤ 特別支援教育の推進 ▷特別支援教育専門家チームによる教育相談 ▷特別支援教育研修会の実施 ▷就学指導委員会の開催	
⑥ いじめ・問題行動・不登校などの解消に向けた取組の強化 ▷いじめ相談シート ▷不登校問題等相談員 ▷不登校指導員の配置 ▷スクールカウンセラーによる教育相談	
⑦ 学校の組織力 ▷学校の特色ある教育活動の支援 ▷教職員研修の実施	

〈課題〉

すべての子どもが学ぶ機会の提供、外国人生徒・こども及びその家族の支援
小中一貫教育の検証と深化
地域の事業者や市民等による、子どもに対する学びの提供と子どもをほめる機会の増加

〈市民満足度調査〉

義務教育(小中学校)の充実

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	強み	強み	強み	強み

施策番号3-2-1:教育環境の充実

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
学習環境の整備に満足している市民の割合 (経営企画室)	16.4%	R 元年度	29.7%	20%	A
中学校給食の実施校数 (学務課)	0 校	R2年度	6 校	6 校	A
仲間づくり事業参加 (学校教育課)	1,742 人	R 元年度	2,432 人	2,000 人	A
教育委員会体制の充実(行事参加) (教育総務課)	17 回	R 元年度	22回	20 回以上	A
総合教育会議の開催 (総務課)	0 回	R元年度	2 回	年 3 回以上	C

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 就学支援の充実 ▷小・中学校就学援助事業 ▷高等学校等奨学金支給事業	○就学援助(新入学学用品費)の時期改善 ○学校給食センターの建設 ○小中学校エアコンの設置 ○不審者情報の学校・園との情報共有 ○学校評議員による学校づくり参画 ○総合教育会議
② 中学校給食の完全実施 ▷中学校給食事業	
③ 学校施設の改修 ▷学校施設の大規模改造事業	
④ 学校安全と危機管理体制の確立 ▷不審者対策事業	
⑤ 地域の教育力の向上 ▷PTCA 活動事業 ▷学校評議員制度 ▷放課後こども教室事業 ▷仲間づくり事業 ▷高砂市生涯学習人材バンク事業	
⑥ 教育委員会の充実と総合教育会議 ▷点検・評価の実施 ▷総合教育会議の開催	

〈課題〉

地域活動の場としての学校施設の活用、放課後こどもプランの強化
計画的な学校施設の更新・改修、設備修繕
ICT を活用できる教育環境整備

〈市民満足度調査〉

学習環境の整備

	H25	H27	H29	R 元
評価 分析	現状 維持	重点	重点	強み

施策番号3-3-1:生涯学習の充実

〈施策指標〉

指標名	実績値		目標値	評価
	H25年度	R2年度	R2年度	
社会教育施設の整備に満足している市民の割合(経営企画室)	18.8%	R元年度 47.2%	20%	A
図書館利用状況 (生涯学習課)	26,626人	R元年度 421,988人	70,000人	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 社会教育施設等の整備・運営の推進 ▷公民館登録グループの活動支援 ▷教育センター事業	○公民館主催講座 ○公民館主催事業の学校等との連携 ○図書館講座、歴史講座
② 特性を踏まえた学習機会の提供の推進 ▷市民教養講座 ▷ふるさと教室 ▷あやめ学習室 ▷ふれあい広場 ▷少年少女合唱団	
③ 学習成果を社会にいかす仕組みの構築の推進 ▷各地区公民館まつり ▷各学習分野の交流会 ▷登録グループの研修会	
④ 子どもの読書活動の推進 ▷ブックスタート事業 ▷子どもの読書のための資料展示 ▷絵本読み聞かせストーリーテリング	
⑤ 新図書館からのふるさと高砂の情報発信 ▷新図書館での学習の場の提供や講演会の実施	
⑥ 民間指導者の育成・活用の推進 ▷公民館登録グループの活動支援	

〈課題〉

図書館、公民館利用者のニーズへの対応 リカレント教育への対応

〈市民満足度調査〉

生涯学習の充実

	H25	H27	H29	R元
評価分析	内容見直し	内容見直し	現状維持	現状維持

社会教育施設の整備

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	強み	強み

施策番号3-3-2:生涯スポーツの推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
スポーツ活動推進施策に満足している市民の割合(経営企画室)	18.8%	R 元年度	20.0%	20%	B
イベント参加者数 (生涯学習課)	34,707 人	R 元年度	34,006 人	35,000 人	B
総合型地域スポーツクラブ活動者数	749 人	R 元年度	730 人	1,000 人	C
体育施設利用者数(総合運動公園体育施設、生石体育センター、向島多目的球場、市民プール)	401,825 人	H30 年度	330,995 人	450,000 人	C-

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 健康づくりのための運動の推進 ▷ウォーキング ▷ラジオ体操 ▷いきいき百歳体操	○健康チャレンジポイント ○いきいき百歳体操 ○ユニバーサルスポーツの普及 ○スポーツ大会支援
② ユニバーサルスポーツの推進 ▷ユニバーサルスポーツ大会の開催 ▷障がい児スポーツ教室 ▷視覚障がい者スポーツ教室	
③ スポーツ施設の整備及び有効活用の推進 ▷体育施設整備事業	
④ スポーツを支える人材の育成・活用の推進 ▷各種研修会の開催	
⑤ スポーツ交流の推進 ▷スポーツクラブ 21 交流会 ▷ラトローブ市との交流事業	
⑥ 競技スポーツの推進 ▷スポーツ顕彰 ▷市長杯、市民大会などのスポーツ大会 ▷トップアスリートによる教室	

〈課題〉

体育施設利用者のニーズへの対応
人口減少に伴う利用者の減少への対応、人生100年時代に応じた健康づくり

〈市民満足度調査〉

生涯学習の充実

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

施策番号3-4-1:文化芸術の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2 年度		R 2 年度	
芸術・文化の振興施策に満足している市民の割合	9.7%	R 元年度	15.1%	15%	B
文化会館・文化保健センター年間施設利用数	2,563 件	R 元年度	2,375 件	3,000 件	C ⁻
文化会館・文化保健センター年間入場者数	164,537 人	R 元年度	136,484 人	170,000 人	C ⁻
ふるさと文化財の登録件数(累計)	7 件	R 元年度	11 件	15 件	C

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業 (実績)
① 謡曲「高砂」をシンボルとした芸術芸能・文化の継承の推進 ▷高砂学等の謡曲「高砂」に触れる機会の拡充 ▷狂言ワークショップの開催(未就学児) ▷小中学校での謡曲「高砂」の体験	○文化財・国史跡の登録・指定 ○史跡整備計画の策定と整備工事の実施
② 次世代の文化芸術を担う人材の育成、活用の推進 ▷各種文化講座の開催 ▷文化芸術のボランティア講師の募集及び育成、若手芸術家等への活動助成 ▷子どもを対象としたワークショップ等の開催	○日本遺産認定 ○工楽松右衛門旧宅の整備 ○工楽家文書調査の実施、報告 ○高砂学、謡曲「高砂」体験
③ 文化資源の発掘、保存、活用の推進 ▷指定文化財、文化財施設、ふるさと文化財の発掘、保存、活用 ▷ゆかりの人物や功績者の調査、発掘、顕彰、表彰 ▷歴史的資料の収集、保存、整理及び市史を含む歴史的資料の活用	○観光パンフレット ○文化イベントの支援
④ 文化を基盤とした市民・団体との連携の推進 ▷行政内部及び市民・各種団体・企業との連携強化 ▷広報誌やホームページ等を活用した様々な文化芸術情報の発信 ▷文化施設等の適切な整備及び新たな鑑賞・発表の場の充実	
⑤ 多様な文化交流の促進 ▷文化団体のコラボレーションの企画 ▷国内外の文化団体の交流促進・活動支援 ▷魅力あるイベントの開催	
⑥ 文化による産業振興や地域の活性化 ▷スポーツ顕彰文化をいかしたロケ地誘致、観光マップ作成等の観光振興 ▷地域ブランドの開発促進及び特産品の活用	

〈課題〉

文化会館、文化保健センター利用者のニーズへの対応、文化財資源のさらなる活用 人口減少に伴う利用者の減少への対応
--

〈市民満足度調査〉

芸術・文化の振興

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	内容見直し	内容見直し	内容見直し	内容見直し

施策番号3-4-2:国際交流の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
国際交流の推進施策に満足している市民の割合	4.6%	R 元年度	7.4%	6.6%	A
海外姉妹都市交流親善大使派遣者数	一人	H29 年度	8 人	8 人	B
国際交流協会会員数	249 人	R 元年度	279 人	300 人	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 国際理解を深めるための機会づくり (協会事業) ▷ラトローブ・ディ国際交流バーベキュー ▷国際交流バス旅行 ▷インターナショナルディキャンプ ▷国際文化交流会 ▷外国語講座	○姉妹都市(オーストラリアラトローブ市)交流 ○在住外国人対象日本語教室
② 市民による国際交流の促進 ▷海外姉妹都市交流推進事業	
③ 多言語による情報提供と相談体制の整備 (協会事業) ▷外国人相談窓口の設置 ▷外国人向けパンフレットの作成 ▷各種通訳ボランティアの調整、派遣	
④ 外国人を対象とした識字教育の実施 (協会事業) ▷日本語教室	

〈課題〉

外国人、多様性に関する人権意識の啓発
外国人の生活の支援

〈市民満足度調査〉

国際交流の推進

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	内容見直し	内容見直し	内容見直し	内容見直し

施策番号3-5-1:人権教育・啓発の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
人権フェスティバル参加者数	757 人	R 元年度	484 人	800 人	C ⁻
人権教育研究大会(人権講演会)参加者数	345 人	R 元年度	306 人	400 人	C ⁻
公民館人権講話の参加者数	457 人	R 元年度	274 人	460 人	C ⁻
人権交流学習会の実施	のべ 347 人	R 元年度	のべ225人	のべ 350 人	C ⁻

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 人権啓発の推進 ▷人権フェスティバルの開催	○人権フェスティバル、人権勉強会の実施 ○人権教育研究大会の開催
② 身近な人権問題の解決に意欲的に取り組む体制の確立 ▷人権教育研究大会の開催	
③ 人権文化の息づく社会づくりの推進 ▷公民館人権講話の実施	
④ 住民一人ひとりの人権意識の高揚 ▷人権交流学習会の実施	
⑤ 人権相談業務の充実 ▷人権相談事業・啓発活動事業	
⑥ 学校・園における人権文化の醸成 ▷啓発活動事業 ▷人権教育研修事業	

〈課題〉

幅広い人権意識の啓発
楽しい、親しみやすい内容、伝わる方法を検討し、時代に合わせた啓発への転換
多様な人権侵害への対応

〈市民満足度調査〉

人権教育・人権啓発

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	現状維持	現状維持	内容見直し	内容見直し

施策番号3-5-2:男女共同参画の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
男女共同参画施策に満足している市民の割合	9.4%	R 元年度	11.7%	15.0%	C
審議会等への女性の登用率	18.6%	R2 年度	21.7%	30.0%	C
女性の年齢別就業率(30~40 歳)(国勢調査)	59.3%	H27 年度	62.9%	65.0%	B
男性の育児休業取得割合(子ども子育て支援アンケート 就学前児童の保護者)	2.1%	H30 年度	3.6%	5%	C

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 政策・方針決定の場や地域社会への女性の参画の促進 ▷審議会委員「見直し方針」の徹底	○女性活躍推進講演会の開催 ○再就職や働き方に関する女性対象のチャレンジ相談、働き方セミナーの開催 ○中学生対象デートDV 防止講座の開催 ○男性の料理教室や父親講座の開催 ○専門相談員を配置した相談体制 ○就職面接会の実施 ○たかさご女性活躍推進会議の設置
② 女性のチャレンジ支援の充実 ▷たかさご女性チャレンジひろば事業	
③ 男女の人権尊重に向けた意識づくり ▷母子福祉事業 ▷デートDV防止講座の開催	
④ 仕事と生活の調和の推進 ▷お父さん応援講座の開催 ▷男性の料理教室の開催	
⑤ 相談窓口等に関する情報提供の充実 ▷播磨地域女性問題相談員等会議への参加 ▷女性のためのこころの相談事業 ▷女性のための法律相談事業	
⑥ 女性の活躍促進 ▷女性等で構成する女性活躍事業主体(協議会)の設置	

〈課題〉

女性に関する人権意識の啓発
女性の起業、創業、再就職の機会の支援、男性の活躍

〈市民満足度調査〉

男女共同参画の推進

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	内容見直し	現状維持	内容見直し	内容見直し

4) 地域の暮らしを守る安全安心都市

〈基本目標〉

市民が安心な生活を送るために、消防や救急、防災や防犯、交通安全を含めた諸施策を展開するとともに、食の安全・安心志向の向上等に伴う消費生活上の安全対策を実施します。

〈施策指標評価〉

A	B	C
3	9	7
		うちC- 0

- A: 調査時点で、目標値と比べて良い(10%超)
B: 調査時点で、目標値と同程度(±10%以内)
C: 調査時点で、目標値と比べて悪い(10%超)
C-: 大きな課題がある

〈評価・検証〉

消防、救急、防災など、命を救う施策は高砂市の強みです。
防災については、特に浸水対策を重点課題として取り組み、高砂市の強みになりました。
災害・事件・事故から市民を守る取組は、油断することなく継続することが重要です。
想像を上回る万一の災害に備え、日ごろから防災機能の充実を図るとともに、説明責任を果たし、市民・団体・事業者等と信頼関係を築くことが必要です。
防犯については、地域での見守り活動や被害にあわないための活動を継続するとともに、再犯防止や消費者相談等を含めた市民の困りごとに寄り添い、複雑に絡み合う課題への対応も求められています。

施策番号4-1-1:消防・救急体制の充実強化

〈施策指標〉

指標名	実績値		目標値	評価
	H25年度	R2年度	R2年度	
住宅用火災警報器の設置率	81.1%	R元年度 80.0%	85%	B
防災訓練及び講習会実施回数	319回	R元年度 332回	350回	B
救急車現場到着所要時間	7.6分	R元年度 6.7分	6.8分	B
バイスタンダーCPR実施率	46.1%	R元年度 43.2%	50%	C
応急手当受講者数	1,809人	R元年度 2,686人	2,500人	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 防火対策の推進 ▷住宅防火対策の推進事業 ▷防火思想の普及啓発の推進	○指令センターの更新 ○高砂分署の移転新築 ○消防団活動の支援 ○火災予防事業の実施 ○救急車現場到着時間の短縮 ○消防車両購入、整備事業の実施
② 通信指令体制の整備 ▷119番受診から現場到着までの時間の短縮 ▷口頭指導體制の強化	
③ 立入検査の強化 ▷建築物の火災予防対策の推進 ▷危険物施設の安全対策の推進	
④ 救急体制の強化 ▷救急業務の高度化の推進 ▷応急手当普及啓発事業	
⑤ 消防施設等の充実強化 ▷緊急車両等の更新計画に基づく整備事業	

〈課題〉

消防・救急体制の継続

〈市民満足度調査〉

消防活動

	H25	H27	H29	R元
評価分析	強み	強み	強み	強み

救急活動

	H25	H27	H29	R元
評価分析	強み	強み	強み	強み

施策番号4-1-2:防災意識の高揚と防災施設の整備

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
防災活動施策に満足している市民の割合	24.3%	R元年度	28.5%	30%	B
浸水対策に満足している市民の割合	25.2%	R元年度	37.5%	30%	A
耐震診断補助件数	14件	R元年度	34件	40件	C
住宅の耐震化率	78.9%			95%(H37)	
防災ネットたかさご登録者数	11,140人	R2年10月	13,504人	14,300人	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 防災対策の充実 ▷地域防災計画の充実 ▷防災情報の伝達 ▷防災備蓄事業	○浸水対策事業の実施 ○河川改良事業の実施 ○雨水管渠整備事業の実施 ○ため池改修事業の実施 ○床上浸水被害解消の確認 ○地域防災計画の継続的見直し ○自主防災組織の育成補助 ○出前講座による防災意識の高揚 ○耐震化の支援
② 防災意識の高揚 ▷自主防災組織の育成補助 ▷防災訓練の実施 ▷防災出前講座の開催 ▷ハザードマップの活用	
③ 総合治水の推進 ▷総合治水推進計画の周知 ▷浸水対策事業 ▷貯留タンク設置の補助 ▷ハザードマップの活用	
④ 浸水対策の推進 ▷河川の改修 ▷雨水管渠の整備 ▷雨水ポンプ場の建設やポンプの増設 ▷ため池の改修	
⑤ 建築物の耐震化 ▷住宅耐震化の啓発 ▷耐震診断の助成 ▷耐震改修工事の助成 ▷市公共建築物の耐震化 ▷橋梁の耐震化・長寿命化	
⑥ 避難行動要支援者対策の推進 ▷避難行動要支援者を把握するための実態調査 ▷避難行動要支援者個別支援計画の作成支援 ▷社会福祉施設等との連携	

〈課題〉

災害発生時の地域と市役所の役割分担と協働の進化
避難意識の醸成

〈市民満足度調査〉

防災活動

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	強み	強み	強み

浸水対策

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	強み	強み

施策番号4-1-3:防犯と交通安全の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
防災対策に満足している市民の割合	21.9%	R元年度	22.0%	25.0%	C
交通安全対策に満足している市民の割合	24.0%	R元年度	18.0%	30.0%	C
刑法犯認知件数	1,150件	R元年度	414件	1,100件	A
交通事故死傷者数	713人	R元年	641人	700人	B
(うち高齢者死者)	2人	R元年度	1人	0人	B
防犯カメラ設置補助数(累計)	17箇所	R元年度	196箇所	200箇所	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 安全・安心なまちづくりの推進 ▷防犯カメラ設置補助事業 ▷公共施設への防犯カメラ設置 ▷地域団体などへの定期的なアンケート調査	○交通安全対策会議 ○小学校での交通安全教室の実施 ○防犯カメラ設置補助
② 地域における見守り活動の推進 ▷青色防犯パトロール ▷警察・防犯協会との連携強化	○防犯灯のLED化、設置 ○道路パトロール
③ 交通安全思想の普及推進 ▷幼児交通安全教室の開催 ▷自転車交通安全教室の開催 ▷自転車安全運転講習会の開催	○橋りょう長寿命化
④ 防犯・交通安全に対する啓発の推進 ▷防犯・交通安全啓発活動 ▷出前講座の開催	
⑤ 交通事故被害者対策の充実 ▷交通事故相談開催情報の広報	
⑥ 交通安全施設の整備 ▷道路パトロールの実施 ▷交通安全総点検の開催	

〈課題〉

地域活動による防犯活動の充実、市役所による支援
交通マナーの啓発
障がい者、高齢者等の触法防止の取組

〈市民満足度調査〉

防犯活動

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	強み	強み

交通安全対策

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	強み	強み	重点

施策番号4-2-1:安心で平和な市民生活の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
消費生活保護施策に満足している市民の割合	10.9%	R元年度	11.7%	15.0%	C
平和行政施策に満足している市民の割合	10.9%	R元年度	11.9%	15.0%	C
消費生活保護に関するまちづくり出前講座受講人数	274人	R元年度	53人	300人	C
消費生活センター相談件数	492件	R元年度	616件	550件	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 消費生活相談体制の充実 ▷消費生活相談事業	○消費生活相談 ○出前講座等による消費者トラブル防止啓発 ○小中学校「インターネットトラブル防止啓発講座」
② 消費者教育の推進 ▷インターネットトラブル防止啓発講座の実施 ▷まちづくり出前講座	
③ 消費者保護対策のための各種団体との連携強化 ▷消費者保護対策事業	
④ 消費者団体の育成・支援 ▷生活科学研究事業 ▷生活科学合同学習会の実施 ▷消費者被害防止啓発事業	
⑤ 平和意識の啓発 ▷平和啓発事業の実施	

〈課題〉

相談しやすい市役所など行政の体制づくりと告知
ネットやスマホの情報リテラシー教育

〈市民満足度調査〉

平和行政の推進

	H25	H27	H29	R元
評価分析	現状維持	現状維持	内容見直し	内容見直し

消費生活

	H25	H27	H29	R元
評価分析	現状維持	現状維持	内容見直し	内容見直し

5) 自然と調和した環境共生都市

〈基本目標〉

市の自然、文化、歴史などの地域特性を踏まえた土地利用構想に基づき、社会情勢変化に対応しつつ、都市基盤整備を推進するとともに、コンパクトな市域において利便性ある住みやすい生活環境づくりの実現をめざします。

また、地球規模の環境問題が生じているなか、進展する都市機能と自然との共存・共生を図り、持続可能な循環型の環境づくりや低炭素社会に向けた取組を進めます。

〈施策指標評価〉

A	B	C
1	17	9
		うちC ⁻ 2

A:調査時点で、目標値と比べて良い(10%超)

B:調査時点で、目標値と同程度(±10%以内)

C:調査時点で、目標値と比べて悪い(10%超)

C⁻:大きな課題がある

〈評価・検証〉

上水道・下水道、ごみ処理は、高砂市の強みです。

身近な生活の基盤となる、居住環境、市街地整備、公園緑地、地域交通網、道路、交通安全について、住民の住みたいまちへの思いをかなえるため、住民の合意形成を図り、事業者とも協議しながらまちを創る市役所が求められています。

そのためには、住民の合意形成により、地域の課題解決に取り組むことが必要です。

特に、将来の人口減少によるまちの空洞化への対策が必要です。住み続けたいまちの維持のために、行きたくなるまちのにぎわいがあること、そこへの移動を確保する道路、公共交通を確保・維持することが重要です。

また、市民の生活を支え続けるため、上水道・下水道事業の健全な経営も重要です。

高砂市の環境はもとより、地球環境の改善につながるよう、市役所が事業者に対して監視を継続するなど、先導的な役割を果たすことも求められています。

施策番号5-1-1:安全・安心な水の供給

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
上水道の供給に満足している市民の割合	56.2%	R 元年度	55.7%	70.0%	C
経常収支比率	96.31%	R 元年度	108.5%	100%以上	A
基幹管路の耐震化率	1.5%	R 元年度	2.5%	7.0%	C ⁻
水質基準適合率	100.0%	R 元年度	100.0%	100.0%	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 財政基盤の強化 ▷水道料金の見直し ▷情報提供の充実	○水道施設の維持 ○水質監視の継続
② 災害に強い水道施設の整備 ▷配水管耐震化事業 ▷水道施設の更新	
③ 水質監視の信頼性の維持及び強化 ▷水質管理事業 ▷バイオアッセイ設置事業	

〈課題〉

上水道基幹管路の耐震化 持続可能な上水道経営

〈市民満足度調査〉

上水道の供給

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	強み	強み	強み	強み

施策番号5-1-2:生活排水の適切な処理

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
生活排水処理率	95.8%	R元年度	98.7%	99.0%	B
下水道人口普及率	93.3%	R元年度	96.4%	96.1%	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 未処理生活排水量の削減 ▷水洗便所改築助成 ▷水洗便所改築資金融資斡旋 ▷浄化槽設置費補助金 ▷下水道接続への啓発活動	○下水道施設の維持 ○合併浄化槽設置助成
② 安定したサービスの提供 ▷アセットマネジメントの導入 ▷資産管理システムの導入	
③ 開かれた下水道経営 ▷公営企業会計の採用 ▷ホームページ等による経営情報公開	
④ 下水道施設の老朽化対策 ▷計画的な施設点検調査 ▷改築更新計画の策定	
⑤ 被災時のサービス継続 ▷災害時行動計画の策定 ▷災害時の応援体制の確立	

〈課題〉

下水道施設の老朽化対策
持続可能な下水道経営

〈市民満足度調査〉

下水道の整備

	H25	H27	H29	R元
評価分析	強み	強み	強み	強み

施策番号5-1-3: 快適で衛生的な生活環境の向上と施設の整備

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
ごみ処理施策に満足している市民の割合	52.3%	R 元年度	54.6%	52.3%以上	B
1人1日あたりのごみ排出量(集団回収量を含む)	933g/人・日	H30 年度	851 g/人・日	R12 年度 738g/人・日	C
資源ごみ集団回収の年間収集量	3,135t/年	R 元年度	1,929 t/年	2,915t/年	C
浄化槽設置費助成数	6 件	R 元年度	5 件	10 件	C
斎場の運営、市有墓地の整備に満足している市民の割合	26.1%	R 元年度	27.4%	26.1%以上	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① ごみ減量化・再資源化の推進 ▷リサイクル啓発講座 ▷電動生ごみ処理機購入費助成 ▷コンポスト講座 ▷拠点回収	○ごみ減量化の啓発 ○広域ごみ処理施設建設 ○斎場整備事業
② ごみ処理有料化の検討	
③ 資源ごみ集団回収の推進 ▷資源ごみ集団回収奨励金	
④ 広域ごみ処理施設建設の推進 ▷広域ごみ処理施設の建設	
⑤ 浄化槽設置費助成の拡充 ▷浄化槽設置助成	
⑥ 墓地の整備 ▷公園墓地管理業務委託 ▷墓地台帳整備事業	
⑦ 斎場の整備 ▷斎場整備事業	

〈課題〉

市民一人当たり排出ごみの減量化、多死時代への対応、無縁墓地への対応

〈市民満足度調査〉

ごみ処理					斎場の運営、市有墓地の整備				
	H25	H27	H29	R 元		H25	H27	H29	R 元
評価分析	強み	強み	強み	強み	評価分析	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

施策番号5-2-1:地域環境の保全

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
地域環境保全施策に不満な市民の割合	15.5%	R 元年度	15.5%	15.5%以下	B
地球温暖化対策に満足している市民の割合	12.2%	R 元年度	14.4%	12.2%以上	A
高砂市の温室効果ガス排出量	2,364 千 t	H30 年度	1,996 千 t	1,605 千 t 以下	C
1人1日あたりのごみ排出量(集団回収量を含む)	933g/人・日	H30 年度	851g/人・日	R12 年度 738g/人・日	C

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 生活の質の向上 ▷事業者に対する監視及び調査の実施 ▷大気、水質、騒音等の常時監視 ▷企業のCSR活動との連携	○高砂市環境基本計画の取組 ○環境マネジメント推進事業 ○工場等への環境調査
② ごみ処理有料化の検討 ▷地域清掃活動の支援 ▷自然観察会等開催の支援 ▷公園や緑地の適正な管理	○地域清掃活動支援 ○地球温暖化対策補助金 ○環境学習
③ 環境負荷の低減に配慮した住宅及び日常生活の普及の推進 ▷環境に配慮した住宅設備助成 ▷ごみ減量化施策 ▷緑化の推進 ▷環境啓発の実施	
④ 次代を担う子どもへの環境教育の推進 ▷事業者によるエコ教室の実施 ▷自然観察会等開催の支援	
⑤ 行政資源の活用と行政コストの削減 ▷市有財産の目的外使用又は貸付 ▷環境マネジメントシステムの運用	

〈課題〉

市民一人当たり排出ごみの減量化
持続可能な社会のための環境負荷の低減
新ごみ処理施設稼働後の環境学習

〈市民満足度調査〉

地域環境の保全

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	強み	重点	重点	重点

地球温暖化対策

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	重点	現状維持	内容見直し	重点

施策番号5-3-1:快適な居住環境の整備

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
土地利用施策に満足している市民の割合	7.9%	R 元年度	9.4%	10%	B
市街地整備に満足している市民の割合	10.9%	R 元年度	10.1%	15%	C-
市営住宅施策に満足している市民の割合	7.9%	R 元年度	9.4%	9%	B
都市計画法に基づく地区計画決定数	3 地区	R2年度	4 地区	4 地区	B
土地区画整理事業実施面積	141.5ha	R2年度	154.8 ha	145.8ha	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 地区計画制度などの活用 ▷都市計画事業 ▷まちづくり推進条例に基づく支援事業	○立地適正化計画の策定着手 ○明姫幹線南 A 地区の地区計画策定 ○木造市営住宅の解体 ○空家等対策基本計画 ○住生活基本計画 ○みなとまちづくり構想
② 良好な宅地の確保と快適な市営住宅整備の推進 ▷開発指導要綱の遵守 ▷市営住宅建設事業 ▷市営住宅整備事業	
③ 豊かな住生活の実現 ▷住生活基本計画の策定 ▷空家等対策条例制定 ▷空家等実態調査 ▷空家等対策計画の策定	
④ 景観の保全・創造の推進 ▷景観まちづくり事業 ▷屋外広告物審査	
⑤ 臨海部の活性化の推進 ▷高砂みなとまちづくり推進事業	
⑥ コンパクトシティ(集約型都市構造)の推進 ▷立地適正化計画の研究	
⑦ 鉄道駅周辺整備の推進 ▷駅周辺整備計画の早期形成	

〈課題〉

<p>高砂駅等周辺の利便性向上に資する活用 コンパクトシティ(集約型都市構造)と市街化調整区域整備の考え方の整合 市民や事業者との協働、合意及び市場調査等に基づく効率的な実施 増える空き家への対策</p>
--

〈市民満足度調査〉

土地利用					市街地整備				
	H25	H27	H29	R 元		H25	H27	H29	R 元
評価分析	重点	内容見直し	内容見直し	内容見直し	評価分析	内容見直し	内容見直し	重点	重点

施策番号5-3-2:安全で快適な道路・交通施設の整備

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
地域交通施策に満足している市民の割合	13.7%	R元年度	14.2%	17%	C
都市計画道路整備率	62.3%	R2年度	64.9%	66%	B
市内駅の年間乗客数	998万3千人	H30年	987万4千人	1,000万人	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 都市計画道路の整備の推進 ▷道路新設改良事業 ▷長期未整備都市計画道路の見直し	○沖浜平津線開通 ○相生橋西詰交差点改良・農人町線整備 ○小松原地区都市再生整備事業
② 公共交通網の拡充の推進 ▷播磨圏域中枢都市圏ビジョンへの位置付け ▷JR西日本への要望活動	
③ コミュニティバスの利便性の向上 ▷コミュニティバス運行事業 ▷コミュニティバス路線再編事業	
④ 幹線道路の整備の推進 ▷道路新設改良事業 ▷播磨臨海地域道路要望活動	
⑤ 生活道路の整備の推進 ▷小松原地区整備事業 ▷狭あい道路事業 ▷道路維持管理事業	

〈課題〉

<p>公共交通、高齢者・障がい者等の移動支援と、コミュニティバスの役割の明確化 鉄道駅を活用した地域の活性化による鉄道の利便性の向上 人の移動を促す、生活に根ざした中心としてのにぎわいの形成 人の移動を促す、鉄道やバスの運行本数の確保 隣接都市へのアクセスの強化のための連携の検討 市民や事業者との協働、合意及び市場調査等に基づく効率的な駅前整備</p>
--

〈市民満足度調査〉

地域交通網の充実

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	重点	重点

社会インフラの整備

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	重点	重点

施策番号5-3-3:緑豊かな憩いの場の整備

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
公園・緑地整備に満足している市民の割合	22.2%	R 元年度	22.2%	23%	B
緑地の推進(市民 1 人あたりの公園緑地面積)	15.1 m ² /人	H30 年度	15.0 m ² /人	15.9 m ² /人	B
公園・緑地の維持管理	166 公園	R2年度	178 公園	182 公園	B
公園基地の緑地面積率	58.9%	H30 年度	58.9%	58.9%	B

〈取組と主な事業、今後の課題〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 公園・緑地の維持管理の推進 ▷公園等管理事業	○公園管理(指定管理者制度、地域団体) ○緑の基本計画の推進
② 緑をいかしたまちづくりの推進 ▷緑の基本計画の推進	
③ 新規公園の整備 ▷公園等管理事業	
④ 大型遊具の再設置等 ▷公園等管理事業	
⑤ 地域防災拠点の維持保全	
⑥ 公園基地の緑地面積の確保	

〈課題〉

自然環境保全活用への視点 公園・緑地の環境、景観の維持に対する住民との合意形成 市民や事業者との協働、合意及び市場調査等に基づく効率的な実施
--

〈市民満足度調査〉

公園・緑地の整備

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	内容見直し	内容見直し	重点	重点

河川・港湾の整備、活用

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	内容見直し	現状維持	現状維持	内容見直し

6) 活気あふれ躍動する産業交流都市

〈基本目標〉

まちが元気であるためには、地域産業の進展を図らなければならないことから、産業のさらなる振興をめざし、多彩な産業の育成、誘導を進め、企業活動の拡大、充実を図り、地産地消の推進に取り組み、いきいきとした元気のあるまちづくりを進めます。

また、観光や地域交流を振興し、にぎわいのあるまちづくりを進めます。

〈施策指標評価〉

A	B	C	
3	6	17	うちC ⁻ 9

A: 調査時点で、目標値と比べて良い(10%超)

B: 調査時点で、目標値と同程度(±10%以内)

C: 調査時点で、目標値と比べて悪い(10%超)

C⁻: 大きな課題がある

〈評価・検証〉

製造業を中心とした、働く場としての産業があることが高砂市の強みです。

農業、水産業は、高砂市の自然環境などの特徴を活かし、消費者ニーズにより合わせた事業を展開するなど、地域資源を活かすことが望まれています。

製造業、商業やその他のサービス業については、地域の特徴や消費者ニーズに合わせて事業を発展させることを通して、市民や従業員の暮らしを支える担い手として継続することが重要です。

また、高砂市が働く場として引き続き選ばれるよう、誰もが気持ちよく働ける職場や労働環境の改善、通勤環境の向上、職住近接によるワークライフバランスの向上などが重要です。

施策番号6-1-1:農業の活性化

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
農業の振興施策に満足している市民の割合	9.1%	R 元年度	7.4%	13.5%	C ⁻
人・農地プランの作成数	0	R 元年度	0	1 集落	C
老朽ため池数	3 箇所	R2年度	0 箇所	0 箇所	A
有害鳥獣捕獲数(イノシシ)	9 頭	R 元年度	54 頭	15 頭 (出没数 0 頭)	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 人・農地プラン作成の促進 ▷人・農地プラン作成説明会の開催	○集落営農組織の設立 ○有害鳥獣対策 ○ため池・用水路の整備 ○地元農産物の学校給食への採用
② 担い手の育成 ▷水田農業構造改革対策事業	
③ 環境・基盤の整備 ▷鳥獣被害対策事業 ▷ため池改修事業 ▷水路・排水路改良事業 ▷多面的機能発揮事業	
④ 遊休農地の解消 ▷水田農業構造改革対策事業	
⑤ 地産地消の推進 ▷地産地消推進事業	

〈課題〉

高砂市の土地利用に合わせた持続可能な農業、都市型農業
市民のニーズに合わせた農地の活用

〈市民満足度調査〉

農業の振興

	H25	H27	H29	R 元
評価 分析	内容 見直し	現状 維持	内容 見直し	内容 見直し

施策番号6-1-2:水産業の活性化

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
水産業の振興施策に満足している市民の割合	7.3%	R 元年度	6.3%	10.9%	C ⁻
年間漁獲量	594t	H30 年度	247 t	650t	C ⁻
漁業組合員数	149 名	H30 年度	127 名	150 名	C

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 環境・基盤の整備 ▷豊かな海創生支援事業	○海産物 PR 支援 ○種苗放流事業 ○養殖支援
② 水産資源の確保 ▷水産資源育成確保事業	
③ 経営の近代化 ▷漁業振興資源融資事業	
④ 担い手の育成 ▷漁業経営推進事業	

〈課題〉

長期的な視点からの漁業、海の再生
持続可能な水産資源活用

〈市民満足度調査〉

水産業の振興

	H25	H27	H29	R 元
評価分析	現状維持	内容見直し	内容見直し	内容見直し

施策番号6-1-3:工業の活性化

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
工業の振興、企業の誘致施策に満足している市民の割合	15.2%	R元年度	14.8%	22.8%	C ⁻
製造品出荷額等	9,731億 4千万円	H29年	7,677 億円	1兆23億 3千万円	C ⁻
事業所数	148箇所	H29年	137箇所	152箇所	B
従業員数	14,023人	H29年	14,104人	14,444人	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 地域を担う中小企業の応援 ▷中小企業情報発信事業 ▷中小企業融資事業 ▷中小企業を対象とした見本市等の開催	○企業立地促進指定地区の拡大 ○松右衛門帆、竜山石の活用事業者支援 ○地域未来投資促進法に基づく基本計画の策定
② 企業・事業所誘致の推進 ▷企業立地促進事業	
③ 地域イノベーション創出支援 ▷地域イノベーション創出支援事業 ▷地場産業人材育成等支援事業	
④ 企業設備投資等への支援 ▷本社機能移転拡充支援事業	

〈課題〉

<p>事業にチャレンジする人の支援、起業・創業支援 成長する事業の誘致と支援 地域特性を生かした産業の誘致と支援</p>
--

〈市民満足度調査〉

工業の振興、企業誘致の促進

	H25	H27	H29	R元
評価分析	現状維持	現状維持	現状維持	内容見直し

施策番号6-1-4: 商業の活性化

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
商業の振興施策に満足している市民の割合	8.2%	R元年度	9.0%	12.3%	C
市内商店数	775件	H28年度	579件	850件	C-
年間販売額	905億 4,949万円	H28年度	1,093億 3,995万円	1,200億円	B
小売中心性指数(顧客流出入比率)	0.692	H28年度	0.708	1.000	C
地域ブランド商品開発数(累計)	87	R2年10月	226件	150	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 市内消費の活性化 ▷市内消費活性化事業	○商工会議所との定期的な連絡会議 ○空き家バンク制度 ○高砂地区の町並みを活用したイベント支援 ○起業家・創業支援
② 空き店舗の活用 ▷空き家・空き店舗有効対策事業 ▷空き店舗等活用促進事業	
③ 商業環境の整備 ▷商業振興事業	
④ 創業(起業)支援 ▷創業支援事業	
⑤ 地域ブランドの育成と情報発信 ▷地域産品開発・販路開拓支援事業 ▷クラウドファンディング活用支援事業	
⑥ 6次産業化への取組支援 ▷6次産業化検討事業	

〈課題〉

事業にチャレンジする人の支援、起業・創業支援、成長する事業の誘致、育成
地域特性を生かした商業の支援、新しいサービス産業の支援

〈市民満足度調査〉

商業の振興

	H25	H27	H29	R元
評価 分析	内容 見直し	内容 見直し	内容 見直し	内容 見直し

施策番号6-2-1:就労の促進と労働環境の整備

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
勤労者対策に満足している市民の割合	7.0%	R元年度	9.2%	10.0%	B
おしごとステーションたかさごへの登録事業所数	109事業所	R2年10月	0事業所	163事業所	C
おしごとステーションたかさごへのアクセス数	105件/日	R元年度	119件/日	157件/日	C
シルバー人材センター会員数	432人	R元年度	394人	450人	C
中小企業健康診断受診者数	1,603人	R元年度	1,558人	1,700人	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 就労支援の充実 ▷就労支援サイトの運営管理、広報事業 ▷就労支援窓口の設置 ▷市内企業情報発信事業	○就職合同説明会 ○近畿労働局との雇用対策協定 ○就労相談支援体制
② 労働者福祉の充実 ▷労働者福祉対策事業	
③ 様々な形態の就労支援 ▷シルバー人材センター運営支援事業 ▷就労支援サイトの運用、周知 ▷就労支援事業の検討	
④ 労働環境の整備 ▷労働環境整備事業	
⑤ 就労・労働相談の充実 ▷就労、労働相談事業	

〈課題〉

高齢者、女性、障がい者、外国人等の活躍、社会参加、働き方の多様化
これからの勤労者福祉施策

〈市民満足度調査〉

勤労者対策

	H25	H27	H29	R元
評価分析	内容見直し	内容見直し	内容見直し	内容見直し

施策番号6-3-1:地域資源をいかした観光と地域交流

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25 年度	R2年度		R 2 年度	
観光の振興施策に満足している市民の割合	9.1%	R 元年度	8.1%	13.6%	C ⁻
地域交流施策に満足している市民の割合	7.9%	R 元年度	7.4%	12%	C ⁻
観光客入込数	114 万人	R 元年度	121 万人	120 万人	B
高砂駅前観光案内所来場者数	4,622 人	R 元年度	4,486 人	5,000 人	C ⁻
情報媒体の設置箇所数	109 箇所	R 元年度	168 箇所	200 箇所	C

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 地域資源の発掘と活用 ▷地域資源発掘活用事業	○高砂堀川周辺地区整備事業の実施 ○ポスター、パンフレット、画像、映像を活用した PR ○文化財の活用 ○高砂市観光交流ビューロー ○SNS を活用した情報発信
② 観光拠点の整備検討 ▷観光拠点整備事業	
③ 市の魅力の発信 ▷市のプロモーション事業	
④ 歴史文化をいかしたまちづくり ▷文化財建造物整備事業 ▷景観まちづくり事業 ▷高砂みなとまちづくり構想事業 ▷まちづくりワークショップ事業	
⑤ 交流拠点の形成・広域観光の推進 ▷広域観光ルート整備事業 ▷観光ボランティア育成事業	
⑥ ビューローの設置・イベント開催支援 ▷地域活性化事業 ▷地域活性並びに PR 事業への支援協力	

〈課題〉

<p>観光情報のSNS対応</p> <p>観光資源としての歴史、文化の見せ方、他市町との連携</p> <p>地域の特性を生かした観光産業の支援</p> <p>高砂の観光、訪問に対する窓口の明確化</p>

〈市民満足度調査〉

観光の振興					地域交流				
	H25	H27	H29	R 元		H25	H27	H29	R 元
評価分析	内容見直し	内容見直し	内容見直し	内容見直し	評価分析	内容見直し	内容見直し	内容見直し	内容見直し

7) 親しみある簡素で開かれた地域経営都市

〈基本目標〉

市民にわかりやすく透明性のある行財政運営を図り、地域の市民生活に根ざした都市を創出していくため、計画の推進に向けた評価、見直しを徹底し、効果的で効率的な行政経営を推進します。

また、広域的な視点に立ったまちづくりを進めるとともに、情報化社会に対応した行政サービスの提供に努めます。

〈施策指標評価〉

A	B	C	
2	3	4	うちC ⁻ 1

A: 調査時点で、目標値と比べて良い(10%超)

B: 調査時点で、目標値と同程度(±10%以内)

C: 調査時点で、目標値と比べて悪い(10%超)

C⁻: 大きな課題がある

〈評価・検証〉

行財政運営における無駄の排除、効率化の取り組みは、引き続き必要です。

今後、人口減少と高齢化がさらに進み、社会が変化し、市民の市役所に対するニーズも変化し続けます。

これまでと同じ行政サービスの提供方法では、行政サービス水準が維持できなくなる危機感を持ち、真に市民が望む行政サービスが何か、市民・団体・事業者等とも共に考え、一歩先を見て、挑戦する行財政運営が必要です。

そのためには、高砂市だけが行う効率化はもちろん、同じ課題を持つ他の自治体との連携や新たな情報技術の活用、公共施設の有効活用、情報提供により現状を知っていただくなど、手段を尽くすことが必要です。

施策番号7-1-1:効果的・効率的な行政経営

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
減債基金残高	15億9,459万 4千円	R元年度	26億 9,604万円	R5年度 31億円	C
職員の人材育成に満足している市民の割合	7.6%	R元年度	9.2%	15%	C
職員数(病院職員を除く)	701人	R2年10月	648人	643人	B
市役所庁舎整備に満足している市民の割合	7.3%	R元年度	17.8%	10%	A
市税収納率(現年度分)	98.7%	R元年度	99.2%	99.0%	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 行政経営の効率化 ▷行政経営プランの策定	○行政経営プランの策定と推進 ○公共施設総合管理計画の策定と推進 ○3セク債の早期償還 ○総合戦略推進のためのこども未来部設置 ○新公会計による財務書類の公表 ○人材育成計画と定員適正化計画の策定と推進 ○新庁舎の建設 ○遊休土地の売却 ○指定管理者制度の実施
② 持続可能な財政運営 ▷減債基金積立事業 ▷新公会計制度の活用	
③ 公共施設等総合管理計画の推進 ▷公共施設等総合管理計画の策定	
④ 職員の意識改革と組織の活性化 ▷組織改正 ▷人事評価制度の導入 ▷職員研修	
⑤ 事務事業の見直しと民間委託 ▷事務事業の見直し ▷事業のアウトソーシング ▷事務のICT化	
⑥ 行政情報提供の充実 ▷情報公開制度の運用 ▷情報公開コーナーの運用 ▷個人情報保護制度の運用	
⑦ 新庁舎構想の推進 ▷新庁舎整備計画の推進	

〈課題〉

総合計画の目標達成に資する市の業務の推進
公共施設の有効活用、複合化

〈市民満足度調査〉

市の財政運営の健全化

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	重点	重点

老朽化した公共施設の整備

	H25	H27	H29	R元
評価分析	重点	重点	重点	重点

施策番号7-2-1:広域行政の推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
広域行政の取組に満足している市民の割合	14.3%	R元年度	13.5%	20%	C-
播磨圏域連携中枢都市圏構想による連携実施事業数(高次の都市機能集積・強化に関する事業を除く)	37事業	R元年度	38事業	40事業	B

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① 兵庫県との連携 ▷広域道路網整備の連携推進 ▷治水対策の連携推進 ▷いなみのため池ミュージアムの推進 ▷高砂みなとまちづくり構想の推進 ▷県との人事交流の推進 ▷市民も利用できる県立施設の誘致	○法華山谷川流域治水対策事業 ○播磨圏域連携中枢都市圏構想 ○東播磨臨海広域行政協議会(夜間急病、ごみ処理等)
② 播磨圏域連携中枢都市圏構想による連携 ▷広域観光周遊ルート of 策定 ▷播磨臨海地域道路の早期実現要望 ▷移住・定住促進の取組 ▷文化、スポーツイベント等の検討	
③ 東播磨臨海広域行政協議会による連携 ▷広域行政協議会事業の実施 ▷首都圏での地域情報の発信	
④ その他広域的な取組 ▷訓練実施、相互応援などの防災協定 ▷治水対策での事務調整 ▷播磨広域連携協議会事業 ▷スポーツ施設利用など公共施設の相互利用 ▷広域ごみ処理施設建設 ▷日本三奇の3市町における観光連携 ▷宝殿駅付近都市整備協議会 ▷播磨臨海地域特定行政庁連絡会議	

〈課題〉

総合計画の目的達成に資する広域行政の推進
 フルセット主義の行政サービスから広域連携での行政サービスへの転換
 市民ニーズに対応できる市役所の体制

〈市民満足度調査〉

広域行政の取組

	H25	H27	H29	R元
評価分析	現状維持	現状維持	現状維持	内容見直し

施策番号7-2-2:情報化の円滑な推進

〈施策指標〉

指標名	実績値			目標値	評価
	H25年度	R2年度		R2年度	
情報施策に満足している市民の割合	11.9%	R元年度	12.8%	30%	C
ホームページのアクセス件数(年間)	425,552件	R2年10月	717,490件	550,000件	A

〈取組と主な事業〉

取組と主な事業	対応・改善した主な事業(実績)
① ホームページの充実 ▷ホームページの充実と運用 ▷SNSとの連携	○市ホームページ ○電子申請システム ○施設予約システム ○図書館システム ○マイナンバーカードの普及促進
② 電子申請システムの利用拡大 ▷電子自治体推進事業	
③ 施設予約システムの充実 ▷施設予約システムの運用	
④ 図書館システムによる利用促進 ▷図書館システムの運用	
⑤ 地域情報化の推進 ▷コンビニエンスストアでの証明発行 ▷情報リテラシー啓発	

〈課題〉

総合計画の目的達成に資する情報技術の活用
行政の積極的な情報提供
市民ニーズに対応できる市役所の体制

〈市民満足度調査〉

広域行政の取組

	H25	H27	H29	R元
評価分析	現状維持	内容見直し	現状維持	内容見直し

3 まとめ

1) 市民満足度調査

高砂市全体のイメージや、高砂市行政施策に対する市民の評価は、平成 25 年の調査開始後、特に目立った変動はありませんでした。

行政が主体となって、安心と安全のために堅実に実施しなければならない上下水道事業、ごみ処理、消防救急体制は、市民の皆様から評価をいただき、高砂市の強みです。

治水対策や防災対策については、大規模な浸水被害を受け、人と予算を重点的に配分し、地域と共に取り組んだ結果、高砂市の強みになりました。

子育て支援、小中学校の教育環境、図書館についても、それぞれ充実を図り、高砂市の強みになりました。

一方で、地域医療、公共交通、社会インフラ・市街地・公園緑地の整備、高齢者福祉、青少年（若者）への支援、市民参画といった、行政の取組だけでは改善に向かわない課題が、引き続き残されています。

移住定住交流の促進、産業の振興、勤労者施策、行政効率化などについては、取組内容の見直しが求められています。市民の実感調査において、広報のあり方、医療・高齢者の生活に関する不安に対しても改善が必要です。

2) 体系別の施策指標による評価

人口減少が予測よりも進み、出生率の改善もありませんでした。

自然減に加え、転出超過による人口減少が進んでいます。

施策に設定した指標では、大きな課題がある(C-)の評価が多かった、市民参画都市、産業交流都市には引き続き課題が残されており、移住定住交流の促進、産業の活性化の取組については見直しが必要です。

3) 第5次総合計画への視点

人口減少と高齢化は、今後も進みます。市民が望む、市民のニーズにこたえる施策を選択し、改善する必要があります。その際には、どんな困難に面しているのか、だれが支援できるのか、どうすれば改善できるのかなど、市民に寄り添い、共に考える市役所が求められています。

高砂市は、基礎的な行政サービス提供に、市民の信頼があります。

市役所は、誰一人取り残さない、共に生きる社会を実現し、生活しやすい活力あるまちを維持するため、日ごろから積極的に情報を開示し、検討から実施段階まで市民や事業者等と共に考え、行動することで、主導的な役割を果たすことが強く求められています。